

率ニ差異アレドモ、其原因ハ貨幣ノ方面ニハ存セザルナリ。若シ貨幣ノ方面ニ存スルモノアリトスレバ、貨幣ノ貸與セララルル期間ノ長短是ナリ。即チ、購買力ヲ標準トスレバ同額ノ貨幣ハ全然同一ナレドモ、貸借ノ目的物トシテハ、長期貸借ニ用ヒラルルモノト短期貸借ニ供セララルルモノトノ間ニ自ラ區別アリ。然レドモ、此區別ハ優劣ノ差異ニハ非ザルナリ。次ニ貨幣ノ個個ニ就テ之ヲ見レバ新陳代謝スルモ、統一的一體トシテハ其存在永久ニ互リ、從ツテ一定ノ金額ハ之ヲ貸借スルモ、家屋器具ノ如ク減損スルコトナシ。而シテ其ノ永續スル所以ハ、土地ノ如ク自然的性質ニ依ルニ非ズ、主トシテ法制習慣等社會上ノ原因ニ基ヅクト雖モ、其結果ハ異ルコトナク、從ツテ金利ハ地代ト同ジク永久的所得ト謂フベキナリ。

**金利成立ノ理由** 貨幣ノ貸借ニ於テ利息ヲ取得スルノ當否ニ關シテハ古來議論少ナカラズ。「アリストテレス」ノ如キハ、貨幣ハ不胎性ナルガ故ニ利息ヲ生ズルノ理ナシト唱へ、又中世時代ノ歐洲諸國ハ耶蘇教ニ基ヅキテ利息ノ取得ヲ禁止セリ。是レ蓋シ經典ニ利息禁止ノ章句アルト共ニ、當時産業未ダ發達セズ、貸借ハ主トシテ所謂消費信用ニ屬シ、之ニ加フルニ、利率甚ダ高ク借主ノ負擔重カリシヲ以

テ、利息ノ取得ハ人ノ不幸ニ乘ジテ暴利ヲ貪ルガ如キ觀アリシヲ以テナリ。今日ニ於テモ、何故ニ利息ガ成立スルカノ説明ハ、未ダ歸一セズシテ數種アリ。其一ハ「制欲説」ナルモノ是ナリ。蓋シ、貸借ニ供セララルル貨幣即チ所謂資金ナルモノハ貯蓄ノ結果ニ他ナラズ、直ニ満足セントスル欲望ヲ抑制シテ此用途ニ貨幣ヲ費消セズ、之ヲ貯蓄シテ資金ト爲セルガ故ニ他人ニ貸與スルコトヲ得ルモノナレバ、利息ハ此制欲ニ對スル報償ナリト爲スナリ。然レドモ、貯蓄ニハ必ズシモ制欲ノ伴フモノニ非ズ、殊ニ巨額ノ財産ヨリ生ズル貯蓄ニ至リテハ、制欲ノ犠牲ヲ以テスルコト殆ド絶無ナリ。又、時差説ト稱セララルルモノアリ。即チ、金額ハ同一ナレドモ、現在ニ有スルモノト將來ニ取得スルモノトニ對シテ、人ノ之ヲ尊重スル程度即チ主觀的價值ハ同一ナラズ。例ヘバ、現在ノ千圓ト一箇年後ノ千圓トハ、今日ニ於テハ其價值ヲ異ニスルヲ以テ、之ヲ同一ナラシムルニハ、若干ノ金額ヲ補足セザルベカラズ。此補足額ハ即チ利息ナリト爲スナリ。彼ノ手形ノ割引等ニ於テハ此說適用セララルルガ如シト雖モ、是レ蓋シ利息ナルモノ既ニ成立スルガ故ニ之ヲ計算シテ控除スルニ他ナラズ、是ヲ以テ割引業者ガ現在ト將來トニ對シテ有スル主觀的



價值ノ差異ニ基ヅタモノト爲スハ事實ニ於テ之ヲ認ムルヲ得ザルナリ。將來ニ於テ返濟實行セラレザル危険アルガ故ニ、例ヘバ、一箇年後ニ受取ルベキ千圓ノ價值ハ現在確實ニ保有スル千圓ノ價值ヨリモ小ナリトセバ、完全ナル擔保ヲ徵セル場合ニハ利息ヲ要セザルノ理ナリ。然レドモ、斯ノ如キ場合ニモ利息ハ事實上支拂ハルルナリ。蓋シ、現在ヲ重ンジ將來ヲ輕ンズル心理作用ハ人ノ往往經驗スル所ナルモ、之ヲ以テ利息成立ノ一般的原因ト爲スヲ得ズ。其他尙ホ二三ノ學說ナキニ非ザレドモ、貨幣貸借ノ場合ニ出現スル利息モ、要スルニ、其成立ノ原因ヲ效用ニ求メザルヲ得ズ。即チ、貨幣借用者ノ享受スル效用ハ家屋器具等ノ場合ノ如ク明白ナラズト雖モ、其存在ニ至リテハ敢テ異ル所ナシ。貨幣ノ借用者ハ其購買力ヲ利用シテ財貨ヲ取得シ若クハ勞務ヲ享受スレドモ、此財貨又ハ勞務ノ效用ト貨幣ノ效用トハ同一ナラズ。茲ニ貨幣ノ效用ト稱スルハ、上述ノ如ク、財貨ヲ取得シ又ハ勞務ヲ享受シテ之ヲ利用スルノ機會ヲ借用者ニ與フルコト是ナリ。例ヘバ、多大ノ利潤ヲ豫期シ得ベキ企業アリトセンニ、其成立ニハ工場ノ建設、機械ノ買入、職工ノ雇傭等ノ爲メニ若干額ノ貨幣ヲ要スルガ故ニ、自ラ此貨幣ヲ所有セザル者

ハ、之ヲ借入レテ始メテ企業ヲ成立セシメ以テ利潤ヲ取得シ能フモ、此貨幣ヲ借入レザルニ於テハ、遂ニ其機會ヲ逸セザルヲ得ズ。利潤ハ企業ノ結果ナレドモ、企業ヲ成立セシムルノ機會ヲ與フルモノハ貨幣ナリ。又例ヘバ、茲ニ病者アリ、高價ノ藥劑ニ依リテ治療シタリトセンニ、回春ノ功ハ藥劑ニ在レドモ、此藥劑ヲ取得スルノ機會ヲ與ヘタルモノハ借入レタル貨幣ニ非ズヤ。然ラバ、貨幣ノ此效用ニ對シテ對價ヲ支拂フハ不當ニ非ズ。之ヲ要スルニ、金利モ亦一種ノ價格ナリトス。

**利息以外ノ金額ノ授受** 貨幣貸借ノ場合ニモ、元金以外ニ貸主ニ支拂ハルル金額ハ全部必ズシモ利息ナルニ非ズ。例ヘバ、銀行ノ如ク金融即チ貨幣ノ貸借ヲ營業トスル者ハ、單ニ上述ノ如キ貨幣ノ效用ニ對スル報酬即チ純然タル利息以外ニ、營業ノ費用ニ充ツベキ手数料ハ勿論、利潤タルベキ部分ヲモ收受シ、殊ニ返濟ノ豫期多少確實ヲ缺クトキハ、此損失ノ危険ニ對シテ保險料ト看做スベキ金額ヲ利息ノ名稱ニ於テ徵收スルモノトス。

金利ノ割合即チ利率ニ幾多ノ種類アルコト、利率ノ常ニ變動スル所以、其他、利率ノ低キコトガ産業ノ發達上希望スベキコト等ハ曩ニ述ベタルガ如シ。



## 第十七章 所得ノ三・賃銀

**賃銀ノ意義** 各人ノ有スル勞働能力ハ、或ハ直接自己ノ爲メニ之ヲ用フルコトアリ、或ハ之ヲ他人ノ使用ニ供スルコトアリ。第一ノ場合ニ於テモ、勞働ニ對スル報酬ハ必ズ存在スベシト雖モ他ノ所得ト混合スルコト多シ。第二ノ場合ニ於テハ、其勞働ニ對シテ通常特ニ約定セル報酬ヲ得ルモノニシテ、是レ即チ賃銀(廣義)ナリ。而シテ今日ノ社會ニ於テハ、其勞働能力ヲ他人ノ使用ニ供スル者少ナカラズ。官吏ノ如キモ其一ナレドモ、其俸給ハ競争ノ爲メニ絶エズ變動スルモノニ非ズ。醫師・辯護士等モ亦他人ノ依頼ニ應ジテ勞務ヲ提供シ、其收受スル報酬ハ一種ノ賃銀ナレドモ、此等ノ職業ハ多少獨占的ノ性質ヲ有シ且風習慣行ニ制セララルガ故ニ、經濟上ノ原則ノミニ由リテ定マルモノニ非ズ。而モ官吏ノ俸給ト同ジク原始的所得ナラザルナリ。之ニ反シテ、狹義ノ賃銀即チ所謂勞働者ノ收得スル賃銀ハ、其高低スル所以主トシテ經濟上ノ原則ニ基ヅクノミナラズ、一國ノ經濟上ヨリ之

ヲ見レバ殊ニ重要ナルモノトス。何トナレバ、近時諸國ニ於テハ、勞働者階級ニ屬スル者國民ノ大部分ヲ占メ、此等ノ民衆ハ主トシテ此賃銀ニ依リテ衣食スルモノナレバナリ。而シテ工業其他ノ産業ニ從事スル勞働者ハ多クハ生産ニ必要ナル原料・器具・機械等ヲ自ラ所有セズ、此等ハ概ネ雇主ニ屬スルガ故ニ、勞働者ハ單ニ勞働ヲ供スルニ止マリ、勞働ノ結果タル生産物ニ對シテハ直接ノ利害關係ヲ有セザルナリ。然レドモ、今日ノ勞働者ハ外部ノ強制ノ爲メニ勞働スルニ非ズ、少ナクトモ表面上ハ全ク自己ノ自由意志ニ依リテ勞働スルモノナルガ故ニ、之ヲ譬フレバ勞働ハ一種ノ商品ニシテ、賃銀ハ其價格ニ他ナラザルナリ。

**賃銀ノ支拂方法** 先ヅ賃銀ノ支拂方法ヲ述ベンニ、食物・住居・衣服其他ノ物品ヲ以テスルコト往時ハ多ク行ハレテ授受者雙方ニ便利ナリシモ、交通頻繁ト爲リテ貨幣ノ使用普及シ、之ニ加フルニ勞働者ノ欲望増進シ又其獨立心盛ナルニ及ンデハ、貨幣支拂ノ方法ニ依ラザルヲ得ズ。而シテ貨幣ヲ以テ賃銀ヲ受クルトキハ甚ダ便利ナリト雖モ、物價變動ノ影響ハ全ク之ヲ負擔セザルヲ得ザルナリ。貨幣以外ノ財貨ヲ以テ勞働ノ報酬ト爲スコト未ダ全ク其跡ヲ絶タズト雖モ、現今ニ於テ



ハ貨幣支拂主トシテ行ハレ、彼ノ「トラックシステム」即チ「實物給與制度」ノ弊害ヲ防止スルガ爲メニ、賃銀ハ必ズ貨幣ヲ以テ支拂フベキコトヲ規定スル邦國多シ。斯ノ如ク賃銀ハ貨幣ヲ以テ支拂フヲ常例トシ、而シテ其額ヲ定ムルニ當リ、時間ヲ標準トスルモノト、仕事高ニ依ルモノトアリ。後者ニハ、多數ノ労働者ヲ一團ト爲シ、之ニ對シテ一定ノ仕事ヲ一定ノ賃銀ニテ請負ハシムル制度亦存ス。時間拂ニ於テハ、契約ノ條件單純ナルガ故ニ、雇主ト労働者トノ間ニ誤解ヲ生ズルコト少ナク、労働者ハ豫メ其所得ヲ計算スルコトヲ得ルナリ。然レドモ、労働者ハ成ルベク少ナク労働ヲ爲サント欲シ、雇主ハ成ルベク多ク労働ヲ爲サシメントスルノ傾向ヲ有シテ利害一致セザルナリ。仕事高ニ應ジテ賃銀ヲ支拂フ場合ニハ、雇主ハ生産額ノ多キヲ欲シ、労働者ハ所得ノ多キヲ望ムガ故ニ、雙方ノ意思調和シ、且賃銀ハ労働者ノ勤惰ニ應ジテ増減スルモノナルガ故ニ合理的ト謂フベシ。然レドモ、此支拂方法ハ之ヲ用フル範圍ニ自ラ制限アリ。即チ、生産物ノ數量明カニ計算シ得ベク、其品質容易ニ識別シ得ベキモノナラザルベカラズ。又労働者ハ過度ノ労働ヲ爲スノ傾向ヲ有シ、而シテ各労働者ガ従前ヨリモ多額ノ生産ヲ爲スニ於テハ、其數

ノ増加シタルト同一ノ結果ヲ生ジ、爲メニ賃銀ノ低落ヲ來スノ虞アルヲ以テ、英獨等ノ労働者ハ從來之ニ反對セルモ、企業者ト労働組合トノ間ニ於テ總括的ニ賃銀ヲ協定スルコト行ハルルニ及ンデ其態度ヲ一變スルニ至レリ。然レドモ、採鑛ノ如キ災害ノ危険多キ事業ニ於テハ、仕事高拂ノ方法ハ事故ヲ多カラシムルノ傾向アリト云フ。

**特殊ノ報酬方法** 賃銀支拂方法ノ最モ普通ナルモノハ、要スルニ、上述ノ二種ナレドモ、往往他ノ方法ノ加味セラルルコトアリ。即チ、一定ノ賃銀以外ニ賞與ヲ給スルコトハ、労働者ノ精勤、生産物ノ良質又ハ原料ノ節約ヲ獎勵スルガ爲メニ、從來諸處ニ行ハレタリシガ、近時主トシテ英米ニ行ハルル賃銀増給ノ新方法ハ、其種類一ナラザレドモ、時間拂ヲ主トスル場合ニハ、例ヘバ、一日十時間ノ労働ニ對シ三弗ノ賃銀ヲ與フルモ、労働者ガ勤勉又ハ熟練ノ結果トシテ、九時間ニ同一ノ成績ヲ擧グルトキハ、節約セラレタル一時間ニ對シ十「セント」ヲ増給シ、二時間ヲ節約スルトキハ二十「セント」ヲ附加スルガ如キ方法ヲ用フルモノトス。此ノ如キ方法ガ生産費ヲ減少シテ以テ雇主ニ利益ヲ與フルヤ言フヲ俟タズ、労働者モ亦普通ノ賃銀額



ヲ引下ゲラルルノ憂ナキニ於テハ之ヲ忌ムノ理ナク、勞働組合モ寧ロ之ヲ歡迎スルノ態度ヲ示スニ至レリト云フ。又所謂利潤分配法ナルモノハ、企業ヨリ生ズル利潤ノ一部ヲ勞働者ニ分與スルモノニシテ、此方法タルヤ、常ニ軋轢反目ノ傾向ヲ有スル企業者ト勞働者トノ關係ヲ調和スルノ效果ナキニ非ズト雖モ、實際其功ヲ收ムルコトハ難シトス。何トナレバ、企業ヨリ生ズル利潤ハ、勞働者ノ勤勉ノ程度モ勿論關係アレドモ、世上ノ景氣又ハ之ヲ利用スル企業經營者ノ手腕ニ依ルコト少ナカラズ、勞働者非常ニ勤勉ナルモ、之ニ應ジテ所得必ズシモ増加スルモノニ非ザレバナリ。從ツテ、此方法ノ用ヒラレテ豫期ノ結果ヲ生ジ得ル範圍ハ廣カラザルナリ。其他滑準法又ハ從價昇降制度ト名ヅクルモノアリ。即チ雇主ト勞働者トノ間ニ於テ生産物ノ標準價格ト標準賃銀トヲ協定シ、生産物ノ價格ガ標準價格ヨリ上レバ賃銀モ亦之ニ應ジテ標準賃銀以上トナリ、之ニ反シテ、生産物ノ價格ガ標準價格ヨリ下レバ賃銀モ亦低落スルモノトス。此方法ハ專ラ英米ノ製鐵所、石炭坑等ニ用ヒラレタルモノニシテ、他ノ事業ニハ多ク之ヲ見ザルガ如シ。

#### 賃銀高低ノ理由

次ニ賃銀ノ高低スル所以ヲ見ルニ、賃銀ハ勞働ノ價格ニ他ナ

ラザルヲ以テ、其高低ハ、要スルニ、需要供給ノ關係ニ依ルモノトス。而シテ需要者タル雇主ハ成ルベク賃銀ノ低カラシムコトヲ欲シ、供給者タル勞働者ハ成ルベク其高カラシムコトヲ望ムハ當然ノ傾向ニシテ、勞働者ト雇主ト對立スルノミナラズ、雇主間及ビ勞働者間ニ於テモ競争行ハル。然レドモ、賃銀ノ高低ニハ自ラ一定ノ限度アリテ、其最低度ヲ定ムル原因ハ勞働者ノ方面ニ存シ、最高度ヲ定ムル原因ハ雇主ノ方面ニ在リ。

#### 賃銀ト生活程度トノ關係及ビ賃銀ノ鐵則

賃銀ノ最低度ヲ定ムル原因ハ勞働

者ノ生活ノ程度是ナリ。文化ノ程度、氣候ノ寒暖、生活上ノ習慣、教育ノ多少、職業ノ種類等ニ依リテ同一ナラズト雖モ、一國ノ勞働者ニシテ同一ノ階級ニ屬シ同一ノ勞働ニ従事スル者ハ、自ラ生活ノ程度ヲ等シクスルヲ見ルナリ。而シテ賃銀低落シ從來ノ生活程度ヲ維持スルコト能ハザラントスルトキハ、勞働者ハ全力ヲ盡シテ之ニ抵抗シ、以テ其低落ノ防止ニ努ムルナリ。生活ノ程度ナルモノハ固ヨリ一定不動ノモノニ非ズ、能フ限り抵抗ヲ試ムルモ尙ホ賃銀低落スルトキハ、最下等ノ程度ニ下ルコトナキニ非ザレドモ、賃銀上騰スルトキハ、生活ノ程度モ亦昇ルノ傾



向アルナリ。然レドモ、一定ノ時、一定ノ地ニ於テハ、同種類ノ労働者間ニ於テハ自ラ一定ノ生活程度アリトス。此生活程度ト賃銀トノ關係ニ就キ「リカルドー」ノ唱ヘタル所ニ據レバ、労働ノ自然價格ハ労働者ガ生活シ且其後繼者ヲ産出シ以テ其數ヲ増減セザルガ爲メニ必要ナル費用ニ等シ。而シテ實際市場ノ賃銀ニシテ此自然價格ヲ超ユルトキハ、労働者ハ幸福ノ境遇ニ在ルモノニシテ、生活ノ必需品竝ニ享樂物ヲ一層多量ニ獲得シ、健康ニシテ且多數ノ家族ヲ養フヲ得ベシ。然レドモ、其結果タルヤ、人口ノ増殖ヲ來シ、從ツテ労働者ノ數増加スルガ故ニ、需要供給ノ關係ニ依リ賃銀ハ再ビ自然價格又ハ其以下ニ低落セン。茲ニ於テ、労働者中生活ニ必要ナル欲望ヲ満足セシムルコト能ハザル者ヲ生ジテ死亡ノ割合増加シ、從ツテ労働者ノ數減少スルガ故ニ、賃銀上騰シテ自然價格ニ達スベシ。故ニ賃銀ハ高低スルモノナレドモ、常ニ自然價格ヲ中心トシテ之ニ近ヅクノ傾向ヲ有スルモノナリ。社會主義ノ論者「ラッサル」ハ之ヲ「賃銀ノ鐵則」ト名ヅケ、而シテ曰ク、賃銀ノ高低スル所以「リカルドー」ノ言ヘルガ如クナルトキハ、労働者ハ始終社會ノ下層ニ在リテ毫モ其境遇ヲ改良スルコトヲ得ズ、是レ實ニ殘酷ナル經濟上ノ法則ニシテ、其

因ハ現今ノ社會組織ニ存スト。然レドモ、此說ハ事實ニ反スルモノニシテ、労働者ガ其境遇ヲ改良スルコト固ヨリ容易ナラザレドモ、其ノ不可能ナラザルコトハ、幾多ノ實例之ヲ證明スルナリ。蓋シ、賃銀上騰スルモ、労働者ハ必ズシモ濫ニ結婚シテ人口ノ増殖ヲ來スモノニ非ズ、其生活ノ程度ヲ高メントスル者亦尠ナカラザルナリ。之ヲ要スルニ、労働者ハ自己ノ意志ニ依リ其生活程度ヲ高メ以テ賃銀ノ上騰ヲ維持スルコトヲ得ルモノニシテ、「リカルドー」モ、進歩シツアル社會ニ於テハ、實際ノ賃銀ガ自然價格以上ニ長ク留マリ得ルコトヲ明言スルナリ。

**賃銀ト利潤トノ關係及ビ「賃銀基金說」** 雇主ノ方面ニ在リテ賃銀ノ最高限ヲ定ムルモノハ利潤是ナリ。抑、雇主ガ労働者ヲ使用スルハ、之ニ因リテ利潤ヲ得ルガ爲メニシテ、其利潤大ナランニハ進ンデ多額ノ賃銀ヲ支拂フベク、其利潤小ナランニハ賃銀モ亦小額ナラザルヲ得ズ。例ヘバ、從來十人ノ労働者ヲ使用セル企業者ガ、更ニ一人ノ労働者ヲ雇入ルルハ、此労働者ヲ使用スルコトヨリ多少ノ利潤ヲ生ズルコトヲ豫期スレバナリ。「賃銀基金說」ナルモノ多年英國ノ經濟學者ノ唱道セル所ニシテ、此說ニ據レバ、一定ノ時ニ當リ一國ニハ賃銀ヲ支拂ハンガ爲メニ準備



セララル一定額ノ資本存在ス。是レ即チ「賃銀基金」ナリ。此賃銀基金ナルモノハ經濟上ノ狀況ニ因リテ増減スルモノナレドモ、一定ノ時ニ於テハ其額ハ確定ス。而シテ此賃銀基金ハ競争ニ依リテ労働者間ニ分配セララルガ故ニ、労働者ノ數多ケレバ各労働者ノ受クベキ金額少ナク、労働者ノ數少ナケレバ各労働者ノ受クル所多シ。又一部ノ労働者多額ノ賃銀ヲ得レバ、他ノ労働者ノ賃銀ハ之ニ應ジテ減少スベキナリ。即チ此說ニ於テハ賃銀ハ既ニ存在セル資本ヨリ支出セラルト爲スモノニシテ、通常雇主ガ労働者ニ賃銀ヲ支拂フハ、生産ノ未ダ結了セザル時ニ於テスルモノナルガ故ニ、外觀ニ於テハ既存ノ資本ヲ以テ支拂フガ如シ。然レドモ、賃銀ナルモノハ結局生産ノ結果ヲ以テ支拂ハルルモノタルヤ疑ナク、企業者ガ労働者ヲ雇入レテ生産ヲ爲スハ、生産ノ成功ヲ豫期シ、労働者ニ支拂フ賃銀ハ生産結了ノ後、生産物ヲ賣却シテ自ラ之ヲ償フモノナルガ故ニ、既存ノ資本ハ一時流用セラルルニ過ギザルナリ。例ヘバ、生産品ノ價格上騰ノ見込アル場合ニハ、企業者ハ賃銀ヲ高メテ以テ労働者ヲ雇入ルルガ故ニ、賃銀ニ用フル資本増加スベク、生産品ノ價格下落ノ兆候アルトキハ、企業者ハ生産ヲ縮少シ、從ツテ賃銀ニ用フル資本モ

減少スルナリ。是ヲ以テ、賃銀支拂ノ爲メニ特ニ準備セル一定不動ノ資本ガ一國ニ存在スルコトハ之ヲ想像スルヲ得ズ。若シ果シテ賃銀基金ナルモノ儼存ストセバ、労働者ハ企業者ニ對抗シテ賃銀ヲ高ムルコト能ハズ、資本ノ増殖若クハ労働者ノ減少ヲ待ツニ非ザレバ、賃銀ハ一般ニ増加セザル所以ニシテ、是レ理論竝ニ事實ニ反スルモノト謂フベキナリ。

**賃銀ノ高低ト労働ノ需要供給トノ關係** 以上ニ述べタル上下ノ限度内ニ於テ、賃銀ハ労働ノ需要ト其供給トノ關係ニ依リ高低スルモノニシテ、企業者ハ労働ヲ買ハントシ、労働者ハ労働ヲ賣ラントシ、需要ガ供給ニ超ユレバ賃銀ハ上リ、供給多キトキハ賃銀ハ下ルモノトス。而シテ需要者ト供給者トハ同等ノ地位ニ立チ其勢力ノ差等ナキガ如シト雖モ、實際ニ於テハ然ラザルナリ。蓋シ、労働ハ一種ノ商品ノ如シト雖モ、労働者ノ身體ヨリ之ヲ分離スルヲ得ズ、而シテ労働者ハ多クハ生計ニ餘裕ナキ境遇ニ在ルガ故ニ、其労働ヲ賣ラントスル念慮ハ企業者ガ労働ヲ買ハントスル念慮ヨリモ強ク、從ツテ雇主ノ提出スル條件意ニ満たザルトキト雖モ、労働者ハ之ニ服從セザルヲ得ザル場合多シ。而シテ労働者個個ノ力ハ以テ企業



者ニ對抗シテ其利益ヲ保護増進スルコトヲ得ズ。是レ即チ種種ナル公私ノ制度・設備ヲ要スル所以ナリ。例ヘバ、労働組合ノ如キハ其重要ナルモノニシテ、微力ナル労働者ト雖モ多數結合シテ永續的團體ヲ組織スルトキハ、其間ニ一種ノ勢力ヲ生ジ、以テ企業者ニ對抗スルコトヲ得ルナリ。歐米諸國ニ於テ、賃銀・労働時間其他ノ労働條件改良セラレテ、労働者ノ境遇ノ著シク向上セルハ、此労働組合ニ負フ處甚ダ大ナリトス。

「ストライキ」「ロックアウト」労働者保護制度及ビ最低賃銀 労働組合ガ企業者ニ對スル抗爭ニ於テ用フル手段ハ一ナラザレドモ、其ノ最モ有力ナルハ「ストライキ」即チ同盟罷業ナリトス。蓋シ此手段ナクンバ労働者ハ、假令團結スト雖モ、結局企業者ニ對抗スル<sup>得</sup>ザルガ故ニ、強迫暴行ヲ敢テシ、又ハ交通機關ノ運轉ヲ阻止シテ一般國民ノ生活ヲ脅カスガ如キ場合ノ外、之ヲ禁止抑壓スベキニ非ズ。從ツテ、此手段ノ往往實行セラルルハ已ムヲ得ザルナリ。然レドモ、同盟罷業ガ生産ノ進行ヲ妨グルハ勿論、労働者モ、殊ニ其ノ失敗ニ終レル場合ニハ、直接損害ヲ被ルコト少ナカラザルヲ以テ、其發生ハ決シテ喜ブベキニ非ザルナリ。「サボタージユ」即チ「怠

業ナルモノ亦行ハルレドモ、同盟罷業ノ一變態ニ他ナラズ。同盟罷業ニ對シテ、企業者モ亦威壓的方法ヲ用ヒザルニ非ズ。其主ナルモノハ「ロックアウト」即チ「工場閉鎖」ニシテ、一時作業ヲ停止シ以テ労働者ヲ失業セシムルコト是ナリ。企業者ト労働者トガ對立スルニ於テハ、上述ノ如キ方法ヲ以テスル抗爭ノ起ルコトアルハ已ムヲ得ザル所ナレドモ、國家ハ之ヲ豫防シ又ハ之ヲ緩和調停スル方策ヲ講ズルヲ要シ、更ニ進ンデ労働者保護ノ施設ヲ爲サザルベカラズ。例ヘバ、法律ヲ以テ、労働者ノ最低年齢ヲ定メ、青年労働者婦女労働者ニ對シテ特別ノ待遇ヲ與ヘ、一般労働者ニ對シテモ從業時間ヲ制限スルガ如キ是ナリ。殊ニ賃銀ニ關シテハ、労働者ノ相當ナル生活ニ必要ナル費用ヲ支辨シ得ベキ程度ノ賃銀即チ「最低賃銀」ヲ定ムベシトノ議論夙ニ諸國ニ於テ唱ヘラレタリシガ、之ニ關スル制度ヲ設ケ、一定ノ範圍ニ於テ之ヲ實行スルモノ、今ヤ數國アルナリ。

職業ノ種類ニ依ル賃銀ノ差異 尙ホ賃銀ニ就テ一言スベキハ、職業ノ種類ニ依ル差異是ナリ。蓋シ、職業ニモ數多ノ種類アリテ、其労働ニ對スル報酬即チ賃銀ニモ差異アルヲ見ルナリ。而シテ賃銀ノ高キハ、要スルニ、需要ニ對シテ労働ノ供給



少ナキガ爲メニシテ、賃銀ノ低キハ供給ノ多キニ基ツカズンバアラズ。何故ニ供給ノ多少ヲ生ズルカノ原因ノ主要ナルモノヲ擧グレバ左ノ如シ。

- 一 成功ノ割合 例へバ、尋常ノ手工職工ト爲ラント欲セバ、十中ノ八九ハ成功スベシト雖モ、老練ナル技術家ト爲ラント欲セバ、其成功ノ割合前者ニ比シテ甚ダ少ナシ。從ツテ其數多カラザルガ故ニ、賃銀自ラ高カラザルヲ得ザルナリ。
- 二 習練ノ難易 習練ノ難易ハ主トシテ習練ニ必要ナル時間ト費用トニ因ルモノトス。此時間ト費用トノ最モ少ナキハ、普通ノ體格ト智能トヲ有スレバ何人ニモ容易ニ爲シ得ベキ勞働ニシテ、斯ノ如キ勞働者ノ賃銀ハ最モ低ク、之ニ反シテ、多年ノ習練ヲ要スル職業ニ至リテハ其賃銀自ラ高カラザルヲ得ザルナリ。
- 三 職業ノ適意又ハ不適意 職業ノ意ニ適スルヤ否ヤハ、多少人ニ依リテ異ルト雖モ、通常人ノ好ムモノト好マザルモノトアリ。而シテ其ノ然ル所以ハ、勞働ノ緩劇、隸屬ノ程度、身體生命ニ對スル危險ノ多少等ニ因ルモノニシテ、通常人ノ特ニ好マザル職業ハ之ニ從事スル者自ラ少ナク、其ノ賃銀ハ高キヲ見ルナリ。
- 四 信任ノ深淺 例へバ、寶石ノ細工人ガ多額ノ賃銀ヲ受クルハ、雇主ノ信任厚キ

者ニシテ始メテ此業ニ從事スルコトヲ得ルニ因ルガ如キ是ナリ。

- 五 轉業ノ困難 例へバ、甲乙二種ノ職業アリ。以上列擧セルガ如キ條件殆ド相同ジキニ於テハ、此兩種ノ職業ニ於ケル賃銀亦軒輕ナキノ理ナレドモ、往往高低アル所以ノモノハ、多クハ轉業ノ困難ニ起因スルモノノ如シ。即チ、甲種ノ賃銀高キモ乙種其他ノ職業ニ從事スル者直ニ之ニ赴クヲ得ズ。從ツテ其供給ニ制限アレバナリ。然レドモ、此状態ハ永久ニ成立スルモノニ非ズ、結局ハ平均スベキナリ。

**名義上ノ賃銀ト實質上ノ賃銀** 上述ノ如ク、職業ノ種類ニ依リ賃銀ニ差異アリト雖モ、例へバ、甲ガ一日ニ二圓ノ賃銀ヲ得、乙ガ一圓ヲ得ルヲ見テ、甲ノ賃銀ハ乙ノ賃銀ニ二倍スト速斷スルヲ得ズ。斯ノ如キ比較ヲ爲サントスルトキハ、職業ノ永續的ナルヤ否ヤヲ檢セザルベカラズ。即チ、職業ノ性質、季節ノ關係等ニ由リテ屢々、勞働ノ中絶ヲ來スモノハ、其ノ然ラザルモノニ比シ、一時ニ收得スル賃銀ハ多額ナルモ、之ヲ一箇年ニ平均スルトキハ、其差異減少シ若クハ消滅スルモノトス。又時ヲ異ニシ若クハ地ヲ隔テテ賃銀ノ高低ヲ比較セントスルニ當リ、特ニ注意スベキ



ハ貨幣ノ價值即チ其購買力ノ多少是ナリ。貨銀トシテ受取ル貨幣ノ額ハ名義上ノ貨銀ニシテ、實質上ノ貨銀ハ此貨幣ヲ以テ購買シ得ベキ食物衣服住居等ニ他ナラザルナリ。故ニ、金額ヲ以テ表示スル貨銀増加スルモ、食物等ノ價格ノ上騰之ヨリモ甚シキトキハ、實質上ノ貨銀ハ却テ減少セルナリ。貨銀ノ國際的比較モ亦同一ニシテ、單ニ金額ノ多少ヲ以テ高低ヲ判斷スルヲ得ズ。從來英國ノ勞働者ガ一般ニ歐洲大陸ノ勞働者ヨリモ多額ノ貨銀ヲ收得シ、而シテ穀物・肉類等ノ價格ハ却テ大陸ニ於ケルヨリモ低廉ナリシヲ以テ、英國ノ勞働者ハ名義上、實質上共ニ大陸ノ勞働者ニ比シ有利ナル境遇ニ在リシモノトス。又雇主ノ方面ヨリ觀察スルモ、名義上ノ貨銀ト實質上ノ貨銀トノ區別ヲ爲シ得ルモノニシテ、即チ、勞働ノ廉・不廉ハ貨銀ノ金額ノミヲ以テ之ヲ判斷スルコトヲ得ズ、勞働ノ成績ニ比較シテ始メテ之ヲ知ルベキナリ。例ヘバ、一日貨銀一圓二十錢ヲ要求スル職工三人ノ成績ニシテ、一圓七十錢ヲ要求スル職工二人ノ成績ニ等シキトキハ、前者ハ名義上ノ貨銀低キモ實質上ノ貨銀ハ高シト謂フベキナリ。

## 第十八章 所得ノ四・利潤

**利潤ノ性質** 例ヘバ、一企業者ガ一種ノ工業ヲ經營スルニ當リ、工場・機械及ビ土地ハ各、其所有者ヨリ借入レ、原料ノ代金、技師ノ俸給、勞働者ノ貨銀、其他日日ノ經費ニ充ツベキ資金ハ之ガ供給ヲ銀行ニ仰ギタリトセンニ、一箇年ノ終ニ於テ其製造品ノ販賣金額即チ收入ヨリ土地・機械・工場ノ借用料ヲ支拂ヒ又借入資金ノ元金及ビ利息ヲ償却シテ尚ホ餘剩ノ存スルモノアラバ、此差益ハ土地資本又ハ勞働ニ對スル報酬ニ非ズ、企業者ガ企業者トシテ取得スベキ特殊ノ所得ナリトス。然レドモ、上述ノ如ク極メテ單純ナル場合ハ實際稀有ニシテ、企業者ハ通常他人ノ土地資本、殊ニ資金ヲ借入ルルト同時ニ自己モ亦此等ヲ所有シ、又他人ノ勤勞、殊ニ勞働者ノ勞働ヲ使用スルト共ニ、自己モ勞務ニ服スルコト少ナカラザルガ故ニ、企業所得即チ利潤ハ複雑ナルヲ免レズ。是ヲ以テ、企業者ガ其利潤ヲ計算スルニ當リテハ、收入ヨリ若干ノ金額ヲ控除スルヲ要スルナリ。即チ、他人ノ土地資本又ハ勞働ヲ



使用シタル場合ニハ、前掲ノ假例ノ如ク、借地料、賃銀、俸給、利息ノ支拂ニ要シタル金額ハ第一ニ控除スベキモノニシテ、原料ノ代金、運賃、租税等モ亦然リ。又工場、機械等ハ消耗、破損等ニ由リテ若干ノ年限内ニハ消失スルモノナルガ故ニ、自己ノ所有ナルニ於テハ之ヲ計算シテ補充スルヲ要ス。所謂減價銷却額ハ即チ是ナリ。其他、修繕費、保険料モ亦控除スベキ費目ナリトス。以上列記セルガ如キ諸般ノ費用ヲ收入ヨリ控除シテ残存スル金額アルトキハ、全額ヲ擧ゲテ企業者ノ所有ニ歸スルナリ。然レドモ、此所得ハ所謂總利潤ナルモノニシテ、左ニ列擧スルガ如キ部分ヨリ成ルモノトス。

一 勤勞ニ對スル部分 小企業ニ於テハ企業者ハ雇入レタル勞働者ト殆ド同一ノ勞働ニ從事スルガ故ニ、此種ノ企業者ノ所得ニハ賃銀ノ性質ヲ有スル部分甚ダ多シ。企業者自ラ技師トシテ勤務シ若クハ親シク業務ヲ處理監督スル場合ニモ、利潤ノ一部分ハ此等ノ勤勞ニ對スル報酬ト看做スベキナリ。之ニ反シテ、株式會社ノ如キハ株主ガ會社ノ業務ニ直接干與スルコト極メテ少ナキガ故ニ、會社ノ利潤即チ主トシテ株主ニ配當スル利益金ハ、勤勞ニ對スル報酬ヲ包含ス

ルコト殆ド皆無ト謂フモ不可ナキナリ。

二 土地資本ニ對スル部分 企業者ガ自ラ土地資本ヲ所有シテ之ヲ使用スルニ於テハ所得ヲ生ズベキヲ以テ、利潤ニ其ノ包含セララルルハ勿論ナリ。

三 資金ニ對スル部分 資金ガ所得ヲ生ズルコト曩ニ述ベタルガ如シ。從ツテ、企業者自ラ所有シテ之ヲ使用シタルトキハ、若干ノ所得ハ其起原ヲ此ニ有スベキナリ。

四 純利潤タル部分 曩ニ述ベタルガ如ク、企業者ガ企業者トシテ取得スル所ニシテ、要スルニ、損失ノ危險ヲ冒シテ企業ヲ遂行スルコトニ對スル報酬ナリ。利潤ハ右ニ列擧セルモノヨリ成立スルコト多シト雖モ、其分解ハ觀念上ニ存スルモノニシテ、其割合ヲ明確ニ定ムルコトハ事實上殆ド不可能ナリ。曩ニ勞働、土地、家屋、機械、資金等ヨリ生ズル所得モ所有者自ラ使用スル場合ニハ、賃銀、地代又ハ利息ト分割セズシテ利潤ニ包含セラルト述ベタルハ、之ガ爲メニ他ナラズ。或ハ他人ノ使用ニ供シタルモノト假定セバ、世上ノ事例ニ準據シテ賃銀、俸給、地代又ハ利息タル金額ヲ表示スルコトヲ得ベキガ如シト雖モ、要スルニ、推測概算ニ過ギザ



ルナリ。之ニ加フルニ、企業失敗スルトキハ、純利潤ハ勿論、上述ノ如ク觀念上地代、利息、貸銀タルベキ部分モ皆無ニ歸スルコトアルベキヲ以テ、土地、資本、勞働ヲ他人ノ企業ニ提供シテ取得スル地代、利息又ハ貸銀ガ企業失敗ノ影響ヲ直接ニ蒙ルコトナキトハ異ル所アルナリ。

**利潤平均ノ傾向及ビ其實現ノ困難** 上述ノ如キ性質ヲ有スル利潤ハ、同種ノ企業間ニ於テハ勿論、異種ノ企業間ニ於テモ平均セントスルノ傾向アルト共ニ、此傾向ノ實現ヲ妨止スル原因ノ有力ナルモノ亦存在スルナリ。先ヅ平均セントスル傾向ニ就テ之ヲ見ルニ、例ヘバ、甲ナル工業會社ニ於テ、製造法ノ改良ニ因リテ生産費ノ減少ヲ來シ、之ガ爲メニ一時多大ノ利潤ヲ得タリトセンニ、乙丙丁等ノ同業者モ次第ニ同一ノ製造法ヲ採用スベキヲ以テ、生産費一般ニ減少シ從ツテ製造品ノ價格低落シ、甲會社ノ利潤モ減少シテ他ノ會社ト大差ナキニ至ラン。又一種ノ工業ガ他ノ工業ニ比シテ利潤多シトスレバ、此工業ヲ營ム者簇出シ、從ツテ其生産品ノ供給増加シテ其價格低落スルト共ニ、此等ノ企業ニ必要ナル原料、勞働ノ需要膨脹シテ其價格、貸銀ノ上騰ヲ來スヲ以テ、利潤ハ減少スベキナリ。之ニ反シテ、利潤

著シク減少セル工業ニ於テハ、或ハ規模ヲ縮少シ或ハ全ク廢業スル者アルヲ以テ、原料ノ價格、勞働者ノ賃銀低落シテ生産費ノ減少ヲ來シ、而シテ之ト同時ニ、生産物ノ供給減少シテ價格上騰スルガ故ニ、利潤ハ次第ニ増加スルニ至ラン。然レドモ、上述スル所ハ、資本、勞働等ノ移動極メテ自由容易ナルコトヲ前提トスルモノニシテ、固定資本ヲ要スルコト少ナク、且特種ノ才能ナキ者モ經營シ能フガ如キ企業ハ、概シテ此前提ヲ具フルナリ。利潤多キ企業ヲ新設スルハ、多大ノ資本ヲ要スル場合ニモ比較的容易ナレドモ、利潤少ナキ企業ヲ縮小シ若クハ之ヲ他種ノ企業ニ變更スルコトハ、固定資本ノ多キ場合ニハ極メテ困難ナリ。例ヘバ、製紙工場ヲ變ジテ紡績工場ト爲スガ如キコトハ、損益ノ計算上實行シ難キ所ナリ。勞働者、殊ニ技師等ガ多年修養ノ結果タル技能、熟練ヲ捨テテ他ノ業務ニ従事スルモ亦困難ナルコト疑フ容レズ。是ヲ以テ、採鑛、製鐵、鐵道、海運等ノ企業ハ單ニ利潤ノ少ナキトキノミナラズ、損失アル場合ニ於テモ直ニ廢業セザルナリ。又手工業者小農等ニ至リテハ、其所得ノ内容ハ主トシテ勞働ニ對スル報酬ナルモ、他ノ職業ニ轉ズルコト難ク、從ツテ永ク不利ナル境遇ニ甘ンジテ其業ヲ繼續セザルヲ得ザルナリ。是ヲ



以テ、利潤ガ平均セントスル傾向アルコト理論上否認スルヲ得ズト雖モ、實際其ノ行ハルル程度ハ企業ノ種類ニ依リテ大差アリ。數多ノ株式會社ノ利益配當率ガ同一ノ時期ニ於テ著シキ懸隔ヲ示スモノアルハ、此原因ニ依ルコト稀ナラザルナリ。

### 多大ナル利潤ノ原因

利潤ガ事實上平均ヲ得ザルコト上述ノ如ク、其變動亦常ニ少ナカラザレドモ、往往其程度ノ甚シキ場合ノ出現スルコトアリ。之ヲ換言スレバ、特種ノ企業ガ特ニ多大ノ利潤ヲ取得スルコトアリ。其主因ハ通常左ノ如シ。

- 一 企業經營者ノ才能 同種ノ企業ヲ行フニ當リ、之ガ經營ニ要スル才能ハ略ボ相等シキガ故ニ、多大ナラザル利潤ヲ得ルニハ普通ノ才能ヲ以テ足レリトス。然レドモ、才能ノ優秀ナル者ニ至リテハ、例ヘバ、機械ノ使用、工場ノ組織、原料ノ買入等ニ改良ヲ加ヘテ大ニ生産費ヲ減少シ、又販路ヲ擴張シ、景氣ノ趨勢ヲ利用スル等ニ依リテ收入ノ大ナルヲ致シ、以テ他ノ同業者ニ比シ多大ノ利潤ヲ得ルコトアルナリ。

### 二 景氣ノ趨勢

企業ノ成敗ハ景氣ノ趨勢ニ關スルコト少ナカラズ。幸ニ好景

氣ニ際會スレバ凡庸ノ企業者モ巨利ヲ博シ、之ニ反スルトキハ非凡ノ企業者モ失敗ヲ免レザルナリ。而シテ景氣ノ趨勢ハ之ヲ豫知スルコト甚ダ難ク、從ツテ好景氣ノ爲メニ成功シ、之ニ依リテ取得セル利潤ハ都市ノ地代ガ偶然ノ原因ニ依リテ暴騰セルニ酷似スルモノアリ。戰時ニ際シ海運業又ハ軍需品工業ガ異常ノ利潤ヲ得ルガ如キハ、此等ノ事業ガ特ニ好景氣ヲ現ハセバナリ。

### 三 獨占

競争ノ行ハルル企業ニシテ利潤ノ多大ナルモノアランニハ、同業者ノ數増加シテ競争ノ結果、利潤減少スル傾向多キモ、獨占ノ場合ニハ然ラズ。例ヘバ、專賣特許ヲ有スル物品ノ價格ハ遙ニ生産費ヲ超ユルモノ少ナカラズ、從ツテ專賣權ノ所有者ハ往往多大ノ利潤ヲ得ルナリ。鐵道ノ如キ所謂自然的獨占業ニシテ、全然之ヲ企業者ノ利己心ニ放任スルトキハ、必ズ其賃金ヲ高メテ以テ利潤ノ増加ヲ圖ルベキナリ。又彼ノ「トラスト」「カルテル」ニシテ多大ノ利潤ヲ獲得スルモノアルハ、結合ニ依リテ市場ヲ制シ自ラ獨占ノ形勢ヲ來スニ因ルコト多シ。

### 利潤ノ正當ナル理由

或ハ利潤ヲ以テ不當ノ所得ト爲ス者アリト雖モ、既ニ企



業者ノ職能ヲ認め、其存在ヲ必要トスルニ於テハ、之ニ對スル報酬ヲ否認スルヲ得ズ。企業者ニシテ利潤ヲ得ルコトナクンバ、企業ハ結局成立セザルナリ。然レドモ、獨占ヨリ生ズル利潤ノ如キハ非難スベキ場合ナキニ非ズ。例ヘバ「トラスト」ガ其生産品ノ價格ヲ引上ゲ、鐵道會社ガ貸金ヲ高ムルガ如キ場合ニ、其程度著シキニ於テハ、一部ノ少數者之ニ因リテ利益ヲ得レドモ、社會全般ハ損害ヲ被ルナリ。

## 第十九章 所得相互ノ關係及ビ 其分配ノ狀態

利潤ト利息及ビ地代トノ關係 利潤ハ一ノ企業ニ於テ收入ヨリ諸般ノ費用ヲ控除セルモノナルガ故ニ、收入増加スレバ、利潤ハ減少セズシテ費用ヲ構成スル所得即チ賃銀其他ハ増加シ得ベシト雖モ、收入同額ナルニ於テハ、此等ノ費用ノ多少ニ應ジテ利潤ハ反對ニ増減スベク、從ツテ利潤ハ他ノ所得ト多少増減ノ相反スル場合多シ。先ヅ利息ニ就テ之ヲ見ルニ、例ヘバ、一萬圓ノ借入資金ニ對シ年八分ノ利息ヲ支拂ヒタルニ、利率低下シテ年五分ト爲ルニ於テハ、一箇年三百圓ノ費用ヲ減ズル所以ニシテ、收入同一ナリトセバ、此金額ハ利潤ニ加ハルナリ。之ニ反シテ、利率年一割ニ上騰スルトキハ、二百圓ハ費用トシテ増加セザルヲ得ズ。是ヲ以テ、利潤ノ多少ハ資金ニ對スル需要ヲ増減シテ利率ノ高低ヲ來スト共ニ、利率ノ高低ハ利潤ノ増減ニ影響ヲ及ボシ、以テ企業ノ伸縮消長ニ關係スルコト少ナカラズ。



是レ即チ利率ノ一般ニ低キ國ノ企業者ガ其ノ高キ國ノ企業者ニ對シ一大便益ヲ有スル所以ナリ。次ニ地代モ上述スル所ニ異ラズ。例ヘバ穀物ノ價格上騰スルニ當リ、農業者ガ地主ニ支拂フ地代ノ金額變更スルコトナクンバ、其利潤ハ増加セザルヲ得ズ。故ニ穀物ノ價格ノ上騰ニシテ持續スルトキハ、土地借入ノ希望者増加シ、競争ノ結果、地代モ亦増加スルヲ以テ、利潤ハ減少シテ從前ノ割合ニ復歸スルノ傾向アルナリ。

**利潤ト賃銀トノ關係** 終ニ賃銀トノ關係ヲ見ルニ、多數ノ企業ニ於テ賃銀ハ費用ノ一大部分ヲ構成スルモノニシテ、企業者ハ其低キヲ欲シ、勞働者ハ其高キヲ望ムガ故ニ、利害相反シ、往往軋轢衝突ヲ來スニ至ル。蓋シ、利潤ト反對ノ位置ニ立ツモノハ、賃銀ノミナラザルコト曩ニ述ベタルガ如シト雖モ、事實上企業者ハ多クハ同時ニ營利資本ノ所有者ニシテ、純利潤ト共ニ性質上地代又ハ利息タルベキ所得即チ財產所得ヲ取得スルモノナルガ故ニ、具體的ニハ利害ノ矛盾少ナシ。之ニ反シテ、勞働者ノ多數ハ賃銀ヲ以テ唯一ノ所得ト爲スガ故ニ、利害ノ調和甚ダ困難ナラザルヲ得ザルナリ。然レドモ、機械使用ノ發達、經營方法ノ改良等ニ依リテ生産

費ノ減少ヲ來ストキハ、利潤、賃銀共ニ増加シ得ルモノトス。而シテ之ヲ英獨等ニ於ケル事實ニ徵スルニ、第十九世紀ノ後半ニ於テ、賃銀ハ概シテ上騰ノ趨勢ヲ繼續シ、利息及ビ利潤ハ大體ニ於テ低落ノ傾向ヲ示セリ。是ニ由リテ勞働者ハ勿論十分ナル満足ヲ得タルニ非ザレドモ、將來賃銀ノ増加シ得ベキハ疑ナキナリ。

**所得分配ノ不平等** 所得相互ノ關係ニ次デ一言セントスルハ、所得分配ノ狀態ナリ。所得ト財產トガ別個ノ觀念ナルコトハ、曩ニ述ベタルガ如シト雖モ、其間ニ密接ノ關係アルコトハ亦之ヲ認メザルベカラズ。即チ、財產ハ所得ノ源泉ナルト同時ニ、所得ニ依リテ増殖スルコト是ナリ。蓋シ、所得ハ其額甚ダ小ナルニ於テハ、全部ヲ消費スルモ尙ホ其取得者ハ生計ノ維持ニ困難ナリト雖モ、其額ノ大ナルニ從ヒ貯蓄シ得ベキ部分増加シテ、直接欲望満足ニ供セラレザル財貨殊ニ營利資本ノ獲得ト爲リ、以テ財產ノ増殖ヲ來スモノトス。而シテ、財產増殖スレバ所得モ從ツテ増加スルヲ以テ、貯蓄ハ愈々容易ト爲リ、富者益々富ヲ重ヌル所以ハ實ニ之ガ爲メナリ。而シテ歐洲ニ於テモ、個人ノ財產ニ至リテハ、其極メテ大ナルモノモ、三代ナラズシテ分散スルモノ稀ナラズト云フト雖モ、各人ノ所得ニシテ同一ナラザルニ



於テハ、其小ナルモノハ遂ニ財産ヲ形成スルヲ得ズ。又財産モ其大小ニ顯著ナル差等ヲ見ルハ自然ノ結果ニシテ、貧富竝ビ存スルハ如何ナル時代ニ於テモ免レザル所ナリ。然レドモ、一國ノ所得及ビ財産ガ少數者ノ掌裡ニ集中シテ、國民ノ多數ハ極メテ貧困ナル境遇ニ在ルハ、大ニ憂フベキ現象ナルコト言フヲ俟タズ。何トナレバ、少數ノ富豪ハ驕奢懶惰ニ流レテ財貨ヲ浪費シ、多數ノ民衆ハ日日ノ糊口ニ汲汲トシテ毫モ其境遇ヲ改良スルノ餘裕ナケレバナリ。從ツテ、各人ノ所得及ビ財産ガ全ク相等シキコトヲ以テ理想的狀態ト爲スベキガ如シト雖モ、是レ亦社會ノ進歩ヲ速カナラシムル所以ニ非ズ。之ヲ從來ノ經驗ニ徵スルニ、一國ノ文化ハ少數者ガ他ニ先ンジテ進ミ、衆人之ニ從フニ因リテ進歩スルナリ。若シ各人ノ境遇全然同一ニシテ毫モ頭角ヲ顯ハス者ナキニ於テハ、社會ハ必ズ沈滯スルニ至ルベク、近時社會ノ發展ハ、才能人ニ秀デ又ハ財産ニ餘裕アル者ノ力ニ負フ所少ナカラザルヲ認ムルナリ。故ニ社會ノ健全ナル發達ノ爲メニ最モ希望スベキハ、中產者ガ多數ヲ占ムルコト是ナリ。中產者トハ、多少ノ財産ヲ有スレドモ、毫モ勤勞スル所ナキニ於テハ相當ノ生計ヲ維持スル能ハズ、而シテ勤勉業ヲ行ヘバ其境遇ヲ

上進シ得ル者ヲ謂フ。

**所得分配ノ實狀** 之ヲ諸國ノ實狀ニ徵スルニ、所得ノ分配ニ關シ精確ナル統計ヲ得ル能ハズト雖モ、所得稅ニ關スル數字ニ依リテ大體ノ觀察ヲ下セバ、比較的少數者ガ一國ニ於ケル所得ノ比較的大部分ヲ取得シ、下級ノ納稅者ハ其數ノ甚ダ多クシテ其一人ノ所得額ノ小ナルヲ見ルナリ。即チ所得ノ分配ハ既ニ少ナカラザル不平等ヲ示シ、此不平等ハ大所得ノ比較的急速ナル上進ニ因リテ益々大ナラントスルノ傾向アリ。而シテ中等階級ニ屬スベキ所得及ビ其以下ノモノモ、其數及ビ金額ニ於テ増加ノ趨勢ヲ示スモノナルヲ以テ、貧者愈々貧ニシテ中產者階級ハ絶滅スベシト唱フル者アルモ、其說ハ事實ニ反スルナリ。然レドモ、大所得ト小所得トノ懸隔ハ既ニ著シキモノアリ、勿論後者モ増進セザルニ非ズト雖モ、其速力ノ前者ニ比シテ遅キハ大ニ考慮スベキ點ナリトス。而シテ私有財産ノ制度ト個人活動ノ自由トニ對シテ、國家ハ極端ナル制限ヲ加ヘ過度ノ干涉ヲ施スベキニ非ザルヲ以テ、相續法、租稅制度等ニ分配調節ノ目的ヲ加味スルコトヲ要シ、社會保險等ヲ設クルコト亦必要ナリ。



## 第二十章 保險

**保險ノ必要** 上記述セル各種ノ所得ハ、繼續シテ取得セララルヲ以テ常態ト爲スト雖モ、増減スルコトアルハ言フヲ俟タズ、其ノ絶斷スルコト亦稀ナリトセザルナリ。例ヘバ、勞働者ニシテ、疾病ニ罹リ又ハ負傷セル場合ニハ、一時賃銀ヲ得ル能ハザルコトアリ、死亡スルニ於テハ永久ニ所得ヲ失ヒ、其家族ハ忽チ衣食ニ窮スルニ至ラン。其他、主トシテ勤勞ニ所得ヲ仰グ者ハ概ネ之ニ類スル境遇ニ在ルナリ。又財産所得ノ源泉タル營利資本、例ヘバ、家屋機械船舶ノ類モ火災暴風雨其他不慮ノ事變ノ爲メニ、或ハ全ク消滅シ、或ハ多大ノ損害ヲ蒙リ、從ツテ其所有者ハ爾後所得ノ全額若クハ一部ヲ失フニ至ル。此等ノ事故ニシテ頻繁ナルニ於テハ、人ノ生活ハ甚ダ不安ナル状態ニ彷徨シ、諸種ノ企業ハ多大ナル危険ヲ冒ス所以ニシテ、其健全ナル發達ハ期シ難シ。而シテ此等ノ事故ヲ豫防シテ其發生ノ回數ヲ減ズルコトハ勿論必要ナレドモ、之ガ根絶ハ多數ノ場合ニ於テ不可能ニシテ、死亡ノ

如キハ何人モ早晚免レザル所ナリ。是ヲ以テ、上述ノ如キ事故發生スルモ、之ガ爲メニ直接關係者ノ蒙ルベキ損害ヲ輕減シ又ハ之ヲ填補スルノ方法アラバ、其直接關係者ハ勿論、社會全般ニ至大ノ利益ヲ與フルヤ疑ヲ容レズ。而シテ此目的ヲ達スルニ於テ最モ有效ナルハ保險ナリトス。

**保險ノ意義** 保險トハ、同種ノ危険ニ遭遇スルノ虞アル者多數ガ團體ヲ組織シテ共同ニ出資シ、之ヲ以テ實際其危険ニ遭遇セル者ノ損害ヲ填補スル制度ニシテ、要スルニ、一人ノ蒙ムレル損害ヲ多數ノ人ニ分配シテ其影響ヲ輕減スルニ他ナラザルナリ。而シテ危険ナルモノハ多クハ災害ナレドモ、事故自體ハ必ズシモ嫌惡スベキモノニ非ズシテ往往保險ノ目的ト爲ルコトアリ。是レ甚ダ奇トスベキガ如シト雖モ、其事故ノ發生スルヤ、臨時ニ比較的多額ノ費用ヲ要スルガ如キコトノ爲メニ所得ノ不足ヲ感ゼシメ、從ツテ經濟上ニ於テハ苦痛ヲ與フルモノナルガ故ニ、是レ亦一種ノ危険ト謂フモ不可ナク、之ヲ要スルニ、保險ニ於テ危険ト稱スルハ、經濟上ノ損害即チ缺損若クハ費用ノ原因タルベキ危険ニシテ、之ガ填補モ經濟上ノ方法、即チ、多クハ一定ノ金額ノ給付ヲ以テ行ハルルモノトス。



**保險ノ實行セラレ得ベキ危險** 經濟上ノ損害ヲ生ズベキ危險ハ其種類枚舉ニ遑アラズト雖モ、之ニ對シテ保險ノ實行セラレ得ベキモノハ甚ダ多カラズ。第一ニ、發生ノ時期ガ豫測シ得ザルモノナルヲ要ス。若シ精確ニ豫測シ得ラルルモノナルトキハ、必然此危險ニ遭遇スベキ人ノミ保險ニ加入スベシ。第二ニ、損害極メテ小ナル危險ハ保險ノ必要ナク、其ノ非常ニ大ナルモノハ之ヲ填補スルコト難ク、地震、洪水等ニ對スル保險ノ尙ホ廣ク行ハレザルハ怪シムニ足ラザルナリ。第三ニ、危險發生ノ回數ガ極メテ少ナキトキハ保險加入者ハ必ズ少數ナルベシ。之ニ反シテ、回數非常ニ多キトキハ損害ノ填補、實行シ難シ。例ヘバ、生命保險ノ行ハレ得ルハ、一定ノ期間ニ於ケル死亡數ガ人口總數ニ比シテ通常甚ダ少ナキガ故ナリ。之ヲ換言スレバ、實際危險ニ遭遇スル者ハ比較的少數ナレバナリ。第四ニ、多數ノ人ガ遭遇スルノ虞アル危險ニシテ始メテ保險ハ成立スルモノトス。然ラザレバ、保險加入者ハ極メテ少數ナラザルヲ得ズ。死亡、疾病ノ如キハ此點ニ於テ最モ保險ニ適スル危險ナリ。第五ニ、危險發生ノ確率ノ計算シ得ラルル程度ハ、保險實行ノ難易ニ至大ノ關係アリ。此點ニ於テ最モ進歩セルハ生命保險ナリ。何トナレ

バ、死亡ニ關シテハ比較的精確ナル統計(生命表)既ニ調製セラレ、之ヲ基礎トシテ確實ナル保險料率ノ測定ヲ爲シ得レバナリ。第六ニ、發生ノ事實ヲ認識スルコト甚ダ困難ナル危險ニ對シテハ保險ハ成立シ難シ。詐偽等ノ不正行爲行ハレ易ケレバナリ。

**保險ノ種類** 保險ノ成立シ得ベキ危險ハ上述ノ如キ條件ヲ具フルコトヲ要スレドモ、保險ノ種類ハ近時著シク増加シ、之ヲ細別スレバ數十種ニ達スベシ。然レドモ、之ヲ大別スレバ人事保險、財產保險及ビ義務保險ノ三種ト爲スコトヲ得ルナリ。

**人事保險** 人事保險トハ、人ノ生命、身體、身分、境遇等ニ關スル事故ヲ對象トスル各種ノ保險ヲ包括スルモノニシテ、其最モ重要ナルハ生命保險ナリ。生命保險ハ更ニ被保險者ガ死亡シタル場合ニ限り、保險金ノ支拂ハルルモノ(死亡保險)、被保險者ガ豫定ノ年齢ニ達シテ尙ホ生存セル場合ニ保險金ノ支拂ヲ受クルモノ(生存保險)及ビ被保險者ガ豫定ノ時期マデ生存シタル場合ハ勿論、其以前ニ死亡セル場合ニモ保險金ノ交付セラルルモノ(混合保險)ノ三種ニ區別セラル。其他、人事保險ニ



屬スベキハ疾病保險老廢保險傷害保險失業保險等ナリ。

**財産保險** 財産保險トハ主トシテ財貨ノ消滅減損ニ對スル保險ニシテ、其主要ナルモノハ火災保險海上保險及ビ運送保險是ナリ。火災保險ハ各種ノ建設物ノ火災ニ對スルモノニシテ、家屋其他ノ建物内ニ保有セラレル動産ノ火災ニ對シテモ亦行ハル。海上保險ニハ船體保險ト積荷保險トアリテ、共ニ極メテ重要ナル保險ナリ。運送保險トハ海上以外ニ於ケル運輸ニ關スルモノヲ云フ。其他、收穫保險家畜保險汽罐保險盜難保險等アリ。又有價證券ノ價格低落ニ對スル保險、貸金預金等ノ支拂停止ニ對スル保險、使用人ノ費消拐帶等ヨリ生ズル損失ニ對スル保險ノ如キモ財産保險ニ屬スベキナリ。

**義務保險** 義務保險トハ一定ノ事故ノ發生ニ由リ負擔スベキ債務ニ對スルモノニシテ、再保險責任保險ノ如キ是ナリ。再保險トハ保險業者ガ其責任ノ一部ヲ他ニ轉嫁スルガ爲メニ行フ所ニシテ、例ヘバ、一海上保險會社ガ船體ノ保險契約ヲ結ビ而シテ其保險金額ノ大ナルニ當リ、自ラ被保險者ト爲リテ他ノ保險會社ニ自己ノ保險債務ヲ保險セシムルガ如シ。是レ實ニ保險業ヲ安全ナラシムル所以ナリ。

リ。又法律ノ規定ニ依リ雇主ガ其使用人ノ職務上ノ負傷ニ對シテ賠償ノ責任アルニ當リ、之ヲ保險ニ付スルトキハ、事故發生ノ際、賠償ニ要スル金額ヲ保險會社ヨリ受領スルモノニシテ、此等ノ保險ヲ責任保險ト名ヅク。

更ニ保險經營者ヲ標準ト爲ストキハ、公設保險ト私設保險トニ區別スルコトヲ得ベシ。而シテ私設保險モ其組織ニ依リ相互保險ト營利保險トノ二種アルナリ。

**相互保險及ビ營利保險** 相互保險ハ、同種ノ危險ニ對シテ保險ノ必要ヲ感ズル者ガ直接ニ團結シテ相互的ニ保險ヲ爲スモノニシテ、被保險者ハ同時ニ保險者タルナリ。之ニ反シテ、營利保險ニ於テハ、特ニ企業者アリ、利潤ヲ得ルノ目的ヲ以テ他人ノ爲メニ保險ヲ爲スナリ。曩ニ述べタルガ如ク、保險ハ同種ノ危險ニ遭遇スルノ虞アル者ガ多數結合シテ損害ヲ分擔スルモノナルガ故ニ、相互保險ハ保險ノ本質ヲ明白ニ表示スルモノナレドモ、營利保險モ歸スル所ハ殆ド同一ナリ。何トナレバ、保險業ナル企業モ多數ノ被保險者ヲ得テ始メテ成立シ、被保險者ヨリ徵收スル保險料ヲ以テ保險金ヲ支拂フモノナレバ、營利保險ノ場合ニモ、其被保險者ハ保險業者ヲ仲介者トシテ團體ヲ組織スルニ他ナラザレバナリ。而シテ營利保險



モ利益配當附ノ契約ニ依リテ其利潤ノ大部分ヲ保險契約者ニ拂戻スモノ少ナカラザルト同時ニ、相互保險モ多クハ有限責任ニシテ、其社員ハ其保險料以外ニ何等ノ義務ヲ負擔セザルヲ以テ、事實上互ニ近接スルモノトス。

**公設保險及ビ社會保險** 保險ハ主トシテ私設的經營ニ依リテ行ハルルモノナレドモ、國家其他ノ公共團體ガ自ラ保險ヲ經營スル場合亦乏シカラズ。是レ即チ公設保險ニシテ、本邦ノ簡易生命保險ノ如キハ其一例ナリ。保險者ハ政府ニシテ、郵便局之ヲ取扱ヒ、健康診斷ヲ要セズ、極メテ簡單ナル手續ヲ以テ何人モ被保險者ト爲リ得レドモ、保險金額ハ甚ダ小ナリ。彼ノ社會保險ト稱セラルルモノモ、往往公設保險タルコトアリ。此保險ハ勞働者及ビ之ト社會上ノ地位又ハ經濟上ノ境遇ヲ同ジクスル者ノ爲メニ施設セラルルモノニシテ、其第一種ハ、被保險者ガ疾病ニ罹レルトキ無料ヲ以テ醫藥ヲ給付シ、勞働不能ノ期間ハ一定ノ金額ヲ交付シ、死亡シタルトキハ葬式費ヲ支給スルモノ是ナリ(疾病保險)。第二種ハ、勞働ニ從事ノ際、負傷セルトキハ先ヅ無料ノ治療ヲ受ケシメ、勞働能力ノ減少ヲ來セルトキハ其程度ニ應ジテ一時金又ハ年金ヲ支給シ、負傷ノ爲メニ死亡セルトキハ遺族ニ一時

金又ハ年金ヲ支拂フモノ是ナリ(傷害保險)。第三種ハ、老齡負傷疾病等ノ爲メニ勞働不能ト爲リタルトキ年金ヲ支給スルモノ是ナリ(老廢保險)。第四種ハ一定ノ老齡例ヘバ、滿七十歳ニ達シタルトキハ年金ヲ支給スルモノ是ナリ(養老保險)。第五種ハ、被保險者死亡シタルトキ其遺族ニ一定ノ金額ヲ支給スルモノニシテ、生命保險ニ他ナラズ(遺族保險)。第六種ハ、失業ノ場合、毎日又ハ每週一定ノ金額ヲ支給スルモノ是ナリ(失業保險)。此社會保險ハ歐洲諸國概ネ之ヲ實行スレドモ、其制度ハ各國多少相異ルノミナラズ、同一國ニ於テモ保險ノ種類ニ依リテ組織方法ノ同ジカラザルヲ見ルナリ。本邦ニ於テ最近實施セラレタル健康保險モ社會保險ニ屬スルモノナレドモ、其範圍尙ホ狹シト謂ハザルヲ得ズ。被保險者ハ、要スルニ、工場又ハ鑛山ノ勞働者ニシテ、保險者ハ政府又ハ健康保險組合ナルモノトス。被保險者ノ疾病、負傷、死亡又ハ分娩ニ關シ療養ノ給付又ハ傷病手當金、埋葬料、分娩費若クハ出産手當金ノ支給ヲ爲スモノニシテ、此保險ニ要スル費用ハ、政府事業主及ビ被保險者ノ分擔スル所ナリ。又彼ノ郵便年金モ生存保險ノ一種ト稱スベキモノニシテ、政府ノ經營ニ屬スルナリ。



之ヲ要スルニ、保險ハ曩ニ述ベタルガ如ク、財産ノ減滅又ハ所得ノ中絶若クハ不足ニ對シテ填補ヲ供シ、以テ生活又ハ企業ニ一種ノ保障ヲ與フルガ故ニ、一般經濟ノ安定竝ニ發達ニ資スルヤ甚ダ大ナリ。

## 第二十一章 消費

曩ニ述ベタルガ如ク、經濟現象ハ之ヲ生産・交易・分配及ビ消費ニ區別シ得ルモノニシテ、生産・交易及ビ分配ニ就テハ以上其概要ヲ説キタルヲ以テ、茲ニ消費及ビ之ニ關聯スル問題ヲ論述セン。

**消費ノ意義** 生産セラレタル財貨ハ、自給經濟ニ於テハ直ニ生産者ヲシテ其效用ヲ享受セシメ、交易ノ行ハルル社會ニ於テハ通例數回ノ賣買ヲ經由スレドモ、結局最後ノ所有者ノ爲メニ財貨タル效用ヲ發揮シテ遂ニ財貨タル生命ヲ終ルモノトス。斯ノ如ク財貨ノ最後ノ所有者ガ其效用ヲ享受スルコトヲ消費ト稱スルナリ。而シテ之ヲ消費ト稱スル所以ハ他ニ非ズ。自然界ノ法則トシテ財貨ノ物質ガ效用享受ノ際、全部消滅シ若クハ漸次消耗スルコトヲ免レザレバナリ。故ニ消費ハ目的ニ非ズシテ結果ナリ。然レドモ、客觀的ニハ、上述ノ如ク、財貨ノ消滅若クハ消耗ヲ見ルガ故ニ、消費ナル語一般ニ用ヒラル。而シテ消費ニモ廣狹ノ二義ア



リ。例へば、綿絲ノ製造セララルルニ當リ、棉花ハ綿絲ト化シテ直ニ其全部ノ存在ヲ失ヒ、紡績機械ハ運轉ノ際、多少ノ損耗ヲ來スモ、之ガ爲メニ他ノ財貨生産セララルガ故ニ、或ハ之ヲ生産的消費ト名ヅク。然レドモ、通常消費ト稱スルトキハ、狹義ノ消費ニシテ、例へば、衣服ヲ著シ、米肉ヲ食シ、家屋ニ住スルガ如ク、終局的ニシテ手段ナラザルモノ是ナリ。從ツテ生産的消費ヲ包含セザルモノトス。

**消費ノ限度** 生産ノ行ハルルヤ、其形態ハ多種多様ナレドモ、皆ナ其結果ヲ消費ニ供スルガ爲メニ他ナラズ。之ヲ換言スレバ、人ハ生産スルガ爲メニ生活スルニ非ズ、生活スルガ爲メニ生産スルナリ。故ニ消費ハ經濟動作ノ目的ニシテ、生産、交易及ビ分配ハ畢竟之ガ手段通路タルニ過ギズ。消費ガ其數量及ビ種類ニ於テ増加シ其性質ニ於テ進歩スルハ、一個人ノ場合ニ於テモ、亦一國ノ場合ニ於テモ、其繁榮ノ上進ヲ示スモノトス。然レドモ、消費モ一定ノ限度ヲ超ユベカラズ。若シ消費ノミ増加シテ生産之ニ伴ハザルトキハ、資本ノ増殖ニ停滞ヲ來シ、遂ニ一般經濟ノ發達進歩ヲ妨グルニ至ルベキナリ。故ニ消費ヲシテ間斷ナク増加上進セシメント欲セバ、之ニ多少ノ制限ヲ加ヘザルベカラズ。一個人ニ就テ之ヲ見レバ、一箇

年ノ所得ヲ以テ悉ク衣食住等ノ消費ニ供スルトキハ、毫モ其財産ヲ増加スルコトヲ得ザレドモ、其所得ノ一部ヲ貯蓄シテ資本ト爲ストキハ、翌年ハ之ガ爲メニ所得増加シ、從ツテ消費ヲモ増進セシムルコトヲ得ルナリ。一國ニ於テモ亦然リ。國民貯蓄ノ精神ニ富ミ、資本ノ増殖盛ナルニ於テハ、生産自ラ大ニ振興シ、全般ノ消費モ亦上進スベキナリ。是ヲ以テ、貯蓄ナルモノハ現在消費シ得ベキモノヲ消費セズシテ之ヲ將來ニ遺シ、之ガ報酬トシテ後日一層多額優等ノ消費ヲ爲ス所以ナリ。

**消費ト所得トノ關係** 之ヲ事實ニ徵スルニ、例へば、農業ハ米穀ヲ産出シ、工業ハ織物、器具等ヲ製造シ、其他諸種ノ生産業ニ依リ消費シ得ベキ財貨ハ絶エズ國民ニ提供セラレ、而シテ農工業等ノ發達スルニ從ヒ、此等ノ財貨ノ數量及ビ種類ハ増加シ其品質ハ優良ニ赴クコト疑ヲ容レズ。從ツテ、國民全體トシテハ消費上進シ、生活ノ程度一般ニ向上スルコトハ否認スルヲ得ザルナリ。然レドモ、各人ガ此等ノ財貨ヲ自己ノ所有ニ屬セシメ、實際其效用ヲ享受スル程度ハ同一ナラズ。而シテ其差異ハ主トシテ各自ノ所得ノ大小ニ基ヅクコト、曩ニ述べタルガ如クニシテ、一家族ガ一箇年間ニ支出スル費用ノ種目ニ就テ、其割合ヲ檢スルトキハ、所得ノ大小



ニ依リ其間ニ著シキ懸隔アルヲ見ルナリ。獨逸ノ統計學者、エンゲル「ハ嘗テ社會諸階級ノ家計表ヲ調査研究シ、而シテ結論ヲ下シテ曰ク、家族ノ貧困ナルニ從ヒ總費用中食物ニ對スル支出ノ割合増加シ、而モ其增加率ハ幾何級數的ナリト。是レ所謂「エンゲル」ノ法則ナルモノナリ。爾後歐米諸國ニ於ケル同種ノ調査ハ大體ニ於テ此法則ヲ實證スルモノニシテ、本邦ニ於テモ類似ノ事實アルヲ認ムルナリ。即チ所得ノ甚ダ小ナル家族ハ、要スルニ、生活ニ必要ナル消費ヲ爲シ得ルニ止マリ、文化的な生活ニ於ケル教養娛樂其他ノ欲望ヲ満足スルコト甚ダ少ナキヲ見ルナリ。

## 第二十二章 消費ト生産トノ關係

消費ト生産トノ關係 消費ハ、曩ニ述ベタルガ如ク、通常狹義ニ解スレドモ、茲ニ消費ト生産トノ關係ヲ考究スルニ當リテハ、生産的消費ノ一面ヲ消費ニ包含セシムルモノトス。例ヘバ、工場ニ於テ動力發生ノ爲メニ石炭ヲ燃燒スルハ狹義ノ消費ナラザレドモ、石炭採掘者ヨリ之ヲ見レバ、暖房ノ用ニ供セラレル場合ト同ジク、自己ノ生産物ニ對スル消費ニシテ、其他原料品ノ生産者ト其使用者トノ關係モ亦然リ。生産終局ノ目的ハ勿論狹義ノ消費ヲ豐富ナラシムルニ在レドモ、過剰生産又ハ恐慌ヲ以テ主トシテ生産ト消費トノ關係ヨリ發生スル現象ト看做スニ於テハ、此場合ニハ消費ヲ廣義ニ解スルヲ要スルナリ。而シテ消費ヲ斯ノ如ク解スルニ於テモ、生産ト消費トノ間ニハ極メテ密接ナル關係存在スルモノニシテ、生産スベキ財貨ノ種類及ビ數量ハ其消費ヲ標準トシテ之ニ適應セシメザルベカラザルナリ。從ツテ、生産ト消費トハ常ニ其間ニ權衡ヲ維持セントスル傾向ヲ有スルモ



ノナレドモ、實際生産ト消費トハ全然一致シ得ルモノニ非ズ。一年間ニ生産セル財貨ハ其期間ノ消費ノ爲メニ生ゼル同種ノ財貨ノ缺乏ヲ補ヒテ、或ハ餘剩アルコトアリ、或ハ不足ナルコトアルベキナリ。蓋シ、近代ノ經濟社會ノ如ク各種ノ生産ガ箇箇獨立ノ企業者ニ依リテ行ハルルニ於テハ、各企業者ハ其生産スル財貨ノ消費額ヲ先見豫測スルコト甚ダ難ク、一二ノ生産者ガ市場ノ情況ヲ精密ニ測定シテ需要ノ減少ヲ豫察シ、從ツテ其生産額ヲ減ゼルガ如キ場合ニ、他ノ同業者ニシテ却テ其生産ヲ擴張スル者アランニハ、其用心注意ハ水泡ニ歸スベシ。是レ即チ所謂過剰生産ナルモノノ時時起ル所以ナリ。

**過剰生産** 過剰生産ハ絶對的ニ起ル場合ナキニ非ズ。例ヘバ、交通不便ナル海濱ニ於テ非常ナル大漁アリタルトキノ如キ是ナリ。然レドモ、通常過剰生産ト稱スルハ比較的過剰生産ニ他ナラズ。蓋シ、現今ノ社會ニ於テハ諸種ノ財貨ガ其數量及ビ種類ニ於テ俄ニ劇増スルモ、若シ其價格ヲ大ニ低廉ニセバ、忽チ消費セラルルコト疑ナシト雖モ、生産者ガ相當ノ利潤ヲ收メ得ベキ價格ヲ維持セントスルトキハ、其生産物ノ一大部分ヲ賣却シ能ハザルノ結果ヲ生ズルコトアリ。是レ即チ

所謂過剰生産ナルモノニシテ、要スルニ供給遙ニ需要ニ超過スルニ因ルナリ。而シテ同種ノ財貨ト雖モ、各企業者ノ投ズル生産費ハ必ズシモ同一ナラザルヲ以テ、他ニ比シテ多額ノ生産費ヲ要シ、從ツテ相當ノ利潤ヲ得ル能ハザル企業者ハ常に存在セザルヲ得ズ。斯ノ如キ企業者ノ少ナキニ當リテハ、未ダ以テ過剰生産起レリト爲サズ、同種ノ企業ニ従事スル者ノ多數ガ、右ニ述ベタル状態ニ在ル場合ニ於テ過剰生産發生スト謂フナリ。而シテ此過剰生産ノ原因ハ常ニ供給即チ財貨ノ數量ノ増加ノミニ非ズ。需要ノ變化、殊ニ消費者ノ購買力ノ減少顯著ナル場合ニモ同一ノ結果ヲ生ズルナリ。

**過剰生産ノ傳播** 此過剰生産ハ一國産業ノ一部ニ止マリテ終ルコトアリト雖モ、又他ニ傳播スルコト稀ナラズ。例ヘバ、甲ナル工業ニ於テ過剰生産起ルトキハ、其企業者ハ或ハ利潤ヲ減ジ或ハ損失ヲ招クガ故ニ、自己ノ消費ヲ縮少スルノミナラズ、勞働者ノ賃銀ヲ低減シ又ハ勞働者ヲ解雇スルコトアルヲ以テ、此等ノ勞働者ノ消費力モ亦減退ス。斯ノ如ク甲工業ノ企業者並ニ勞働者ノ消費品ニ對スル需要減少スルガ故ニ、此等ノ消費品ヲ生産スル乙丙丁等ノ工業モ亦過剰生産ニ陥リ、



而シテ此等ノ工業ニシテ過剰生産ヲ感ズルコト大ナルトキハ、其企業者ハ甲工業ノ企業者ト同ジク、自己ノ消費ヲ減ジ勞働者ノ賃銀ヲ低クスル等ノ方法ヲ採ルガ故ニ、其影響ハ更ニ他ノ産業ニ波及スルニ至ルナリ。

**過剰生産ト恐慌** 上述ノ如ク、一國ニ於ケル生産ト消費トハ全然一致スルコト甚ダ難ク、而シテ其不權衡ニシテ甚シカラザルニ於テハ自ラ調節セラルト雖モ、過剰生産ニシテ其範圍廣ク且其程度著シキトキハ往往恐慌ヲ惹起スルニ至ル。而シテ諸國ニ發生セル恐慌ヲ見ルニ、其直接ノ原因、經過及ビ結果ニ至リテハ全ク相同ジキニ非ズト雖モ、左ニ述ブルガ如キ徑路ヲ取レルモノ多シ。

**恐慌ノ徑路** 或時期ニ於テ、穀物豐作ヲ告ゲ、外國貿易順調ヲ示シ又ハ戰亂終熄セルガ如キ事實ヲ見テ、經濟界ノ景氣好況ニ赴クノ前兆ト爲シ、諸種ノ企業ガ久シカラズシテ多大ノ利潤ヲ占ムベシト信ズル者往往出現ス。一部ノ人人此ノ如キ念慮ヲ抱クトキハ、他ノ人人モ亦誘ハレテ同一ノ期待ヲ生ジ、遂ニ世上ノ景氣益々有望ナリトノ思想ハ社會ノ全面ニ蔓延スルニ至ル。茲ニ於テ、既設ノ會社ハ其事業ヲ擴張シ、新會社モ續續設立セラレ、之ガ爲メニ建築製造等ニ必要ナル材料ハ其

價格上騰シ、此等ヲ所有スル者ハ多大ノ利潤ヲ得ルヲ以テ、他ノ物品モ亦需要増加スベシト豫想シテ商人頻リニ買入ヲ爲スガ故ニ、其價格モ次第ニ上騰ス。而シテ銀行其他ノ金融業者ハ多クハ上述ノ如キ企業者又ハ商人ニ對シ頻ニ資金ヲ融通スルヲ見ルナリ。然レドモ、斯ノ如キ状態ハ永久ニ繼續スルモノニ非ズ。諸種ノ財貨ハ其生産額著シク増加スルヲ以テ、曩ニ述べタルガ如キ過剰生産ニ陥ルモノ少ナカラズ。杜撰ナル計畫ニ基ヅケル事業ニ至リテハ、豫期ノ如ク成功セザルノミナラズ、多クハ損失ヲ生ズルナリ。茲ニ於テ、銀行等ヨリ資金ヲ借入レントスル者益々多ク、金融從ツテ逼迫ヲ告ゲテ金利ノ上騰スルト共ニ、銀行等ハ茲ニ其資金ノ返還ニ關シテ不安ヲ感ジ之ガ回收ニ努ムルヲ以テ、一部ノ企業者ハ窮境ニ陥リ、遂ニ破産スル者現出スルニ至ル。而シテ此等ノ破産者ニ信用ヲ以テ物品ヲ賣込ミタル製造家又ハ資金ヲ融通セル銀行等モ多大ノ損失ヲ醸スモノ少ナカラズ。而シテ破産者續出スルニ及ンデハ、人人皆ナ疑懼ノ念ヲ生ジ、幾多ノ銀行ハ取附ヲ受ケテ支拂停止ヲ爲スモノアルナリ。斯ノ如キ状態ヲ恐慌ト稱シ、之ガ爲メニ損害ヲ被ムル者ハ企業者資本案ノミナラズ、勞働者モ亦其業ヲ失フ者少ナカラザルナ



リ。而シテ恐慌ノ後ニハ、人人恐怖ノ念ヲ生ジテ、有望確實ナル事業ト雖モ進ンデ之ヲ計畫スル者少ナキガ故ニ、商工業大ニ不振ヲ來シテ物價ハ一般ニ低落シ、經濟界ハ所謂不景氣ノ状態ヲ呈スルナリ。然レドモ、多クハ兩三年ヲ過グルトキハ、當時ノ慘狀ニ對スル世人ノ記憶次第ニ薄ラギ、且不景氣ノ際ニハ富裕者モ自ラ節儉ヲ行ヒテ貯蓄増殖シ、從ツテ銀行ノ預金等モ増加シ、銀行モ此等ノ資金ヲ使用センガ爲メニ利率ヲ低クシテ融通ヲ爲スニ至ル。茲ニ於テ、信用漸ク舊ニ復シ、再ビ好景氣ニ向ハントスル傾向現ハルルナリ。

**景氣ノ循環** 斯ノ如ク、近代ノ經濟界ノ景況ハ、其間ニハ長短アレドモ、略ボ一定ノ順序ヲ以テ循環スルモノニシテ、時時恐慌ノ發生スルハ殆ド免ルベカラザルモノノ如シ。而シテ第十八世紀ヨリ第十九世紀ニ互リ英國ニ起レル恐慌ハ約十年ヲ隔テテ相踵ゲルヲ以テ「ジェヴォンス」ハ其原因ヲ太陽ノ熱度ノ變化ニ歸セシモ、其說タルヤ奇矯ニ失スルモノニシテ、近時ニ於テハ其循環期ハ長短不同ト爲レリ

**恐慌ヲ豫防シ又ハ鎮靜スル方策** 恐慌ノ發生スル原因ハ自由競争ト土地資本ノ私有制度トニ在リ、若シ土地資本ノ私有制度ヲ廢シ、個人間ノ競争ヲ絶チ、社會ノ

人人協同シテ生産ニ從事スルトキハ、生産ト消費トノ間ニ權衡ヲ失スルコトナキガ故ニ、恐慌ハ決シテ起ラズト唱フル者アリ。然レドモ、土地資本ノ私有制度ヲ廢止スルコトハ到底實行シ得ベキニ非ズ。是ヲ以テ、恐慌ノ發生ハ近代ノ經濟組織ニ於テハ絶對的ニ之ヲ避クルコトヲ得ズト雖モ、其循環ヲ緩クシ又ハ其程度ヲ弱ムルコトハ不可能ナラザルガ如シ。例ヘバ、彼ノ企業結合ハ、曩ニ述ベタルガ如ク、人爲的獨占ヲ爲シテ生産物ノ價格ヲ高カラシムル等ノ弊害ナキニ非ズト雖モ、一種ノ財貨ノ生産ニ於テ其過半ヲ占ムルヲ得バ、適宜ニ其産額ヲ伸縮シテ以テ過剰生産ヲ緩和スルコト必ズシモ難カラザルナリ。又上述ノ如ク、恐慌ノ來ルニ先ダチテ社會一般ニ起業心勃興シ、次デ投機的企業ノ旺盛ナルヲ見ルモノニシテ、多數ノ企業者ハ資金ヲ借入ルルモノナルガ故ニ、利率ノ低キハ自ラ起業ヲ獎勵シ、其高キハ之ヲ抑制スルノ傾向アリ。故ニ利率ヲ高低シテ巧ニ金融ヲ調節スルコトハ以テ恐慌豫防ノ一手段ト爲スコトヲ得ルナリ。由來利率ノ高低ハ資金ノ需要供給ノ關係ニ由リテ定マルモノナレドモ、一國金融界ノ霸權ヲ掌握スル中央銀行ノ利率ハ、或程度ニ於テ一般ノ金融ニ影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ、此關係ヲ利用シ



テ經濟界ノ變移ニ應ズルハ中央銀行ノ職能ナリトス。即チ、經濟界ノ好景氣一轉シテ投機的企業勃興ノ徵候現ハルルニ至ラバ、中央銀行ハ時機ヲ失セズ十分ニ利率ヲ引上ゲテ資金需要ノ緊縮ヲ促シ、以テ企業者ニ警告ヲ與フルヲ要スルナリ。斯ノ如ク利率ヲ引上グルモ其效ナク、恐慌遂ニ襲來スルニ及ンデハ、更ニ利率ヲ引上グルト共ニ、毫モ躊躇スル所ナク割引貸付ノ依頼ニ應ゼザルベカラズ。是レ實ニ人心ヲ安定シ以テ恐慌ヲ鎮靜スルニ於テ極メテ有效ナレバナリ。

## 第二十三章 人口問題

**人口問題ノ意義** 一國ニ於ケル人口ノ多少又ハ増減ハ其關係スル所多方面ナレドモ、所謂人口問題ナルモノハ、主トシテ一國民ノ食物ニ關スル生産ト消費トノ關係ニ他ナラザルナリ。此意義ニ於ケル人口問題ニ就テ最モ著名ナル學說ハ、英人「マルサス」ガ一七九八年ニ始メテ之ヲ唱へ、次デ一八〇三年ニ修正ヲ加ヘタルモノ是ナリ。其概要ヲ左ニ述ベン。

**「マルサス」ノ人口論** 現在ノ生活資料以上ニ蕃殖セントスルハ生物界共通ノ傾向ニシテ、植物・動物ノ蕃殖力ハ其密集ト生活資料ニ對スル競争トニ因リテ始メテ制限セラル。即チ、動植物ハ其子孫ニ對シテ毫モ慮ル所ナキガ故ニ、生殖ノ自由アルニ於テハ忽チ蕃殖シテ、場所ト栄養トノ不足ノ爲メニ再ビ其數ヲ減ズルモノトス。然ルニ、人類ハ強力ナル生殖ノ天性ヲ有スレドモ、他ノ生物ト異リ理性ヲ備フルガ故ニ、過度ノ蕃殖ノ結果ヲ豫知スルコトヲ得ルナリ。然レドモ、人口ハ其有ス



ル食物以上ニ増加セントスル傾向アルモノニシテ、他ニ障礙ナキニ於テハ、人口ハ二十五年毎ニ二倍スルハ明確ナリ。然ルニ、食物ノ増加ハ人口ノ増殖ト異リ、増殖セル人口ヲ養フベキ食物ハ同一ノ比例ヲ以テ増加スルモノニ非ズ。人口ト食物トヲ比較スレバ、前者ハ幾何級數的(一、二、四、八、一六、三二、六四、一二八、二五六、…)ニ、後者ハ算術級數的(一、二、三、四、五、六、七、八、九、…)ニ増加ス。是ヲ以テ、人口増殖ニ對スル究極的抑制ハ食物ノ缺乏ニ他ナラザレドモ、此究極的抑制ハ饑饉ノ場合ノ外ハ直接ニ實現スルモノニ非ズ。直接ノ抑制ハ豫防的抑制ト積極的抑制トニ大別スルコトヲ得ルモノニシテ、前者ハ子女養育ノ困難ヲ認識シ得ル人類ニノミ存在シ、早婚ヲ避クルガ如キ道德的自制ハ最善ノ抑制ナレドモ、往往受胎ヲ妨グルガ如キ亂交又ハ結婚外ノ性交ノ如キ罪惡ヲ生ズ。積極的抑制ニ至リテハ其種類少ナカラズ、健康ニ有害ナル職業、過激ノ勞働、極度ノ貧困、子女ノ榮養不良、大都會ノ生活、諸種ノ亂行、數多ノ疾病、流行病、戰爭、饑饉ノ如キ即チ是ナリ。「マルサス」ハ更ニ其所説ヲ概括シテ曰ク、第一ニ、人口ハ必ズ食物ニ因リテ制限セラル。第二ニ、他ニ有力ナル抑制ナキニ於テハ、人口ハ必ズ食物ノ増加ニ伴フテ増殖ス。第三ニ、豫防的又ハ積極的

ニ人口ノ増殖ヲ妨ゲ以テ食物ノ存在額ニ適應セシムル抑制ハ皆ナ道德的自制罪惡又ハ災厄ニ歸著スルモノナリト。

「マルサス」ノ人口論ニ對スル駁論及ビ事實 上述ノ如キ「マルサス」ノ人口論ハ、之ヲ反駁スル者少ナカラズ。例ヘバ、社會主義ノ論者ハ、現今ノ社會ニ現ハル諸種ノ弊害ヲ土地、資本ノ私有制度ニ歸シ、人口ノ過剩モ畢竟此經濟組織ニ特有ナル現象ニ他ナラズト爲スナリ。經濟組織モ勿論人口問題ニ關係ヲ有スルモノナレドモ、其變更ニ因リテ之ヲ根絶スルコトハ不可能ナリ。又腦髓及ビ神經系ノ發達スルニ從ヒ人類ノ生殖力ハ減退スルモノナルガ故ニ、文化ノ進歩スルト共ニ、人口ノ増殖ハ次第ニ其率ヲ減ズベシト唱フル者アレドモ、此說ハ生理學者ノ承認スル所ニ非ザルナリ。尙ホ其他ノ理由ヲ以テ反對スル者ナキニ非ザレドモ、「マルサス」ノ人口論ハ大體ニ於テ正當ナリト爲ス者多キガ如シ。然ルニ、近年歐洲諸國ニ於ケル出生率ノ顯著ナル低下ハ注目スベキ現象ナリトス。其ノ最モ早ク發生シテ其程度ノ最モ強キハ佛國ナレドモ、最近ニ至リテハ白人種國ノ多數ニ共通ナル事實ト爲レリ。其原因ニ關シテ諸說一致セズト雖モ、要スルニ、生理上ニ於テ生殖能力



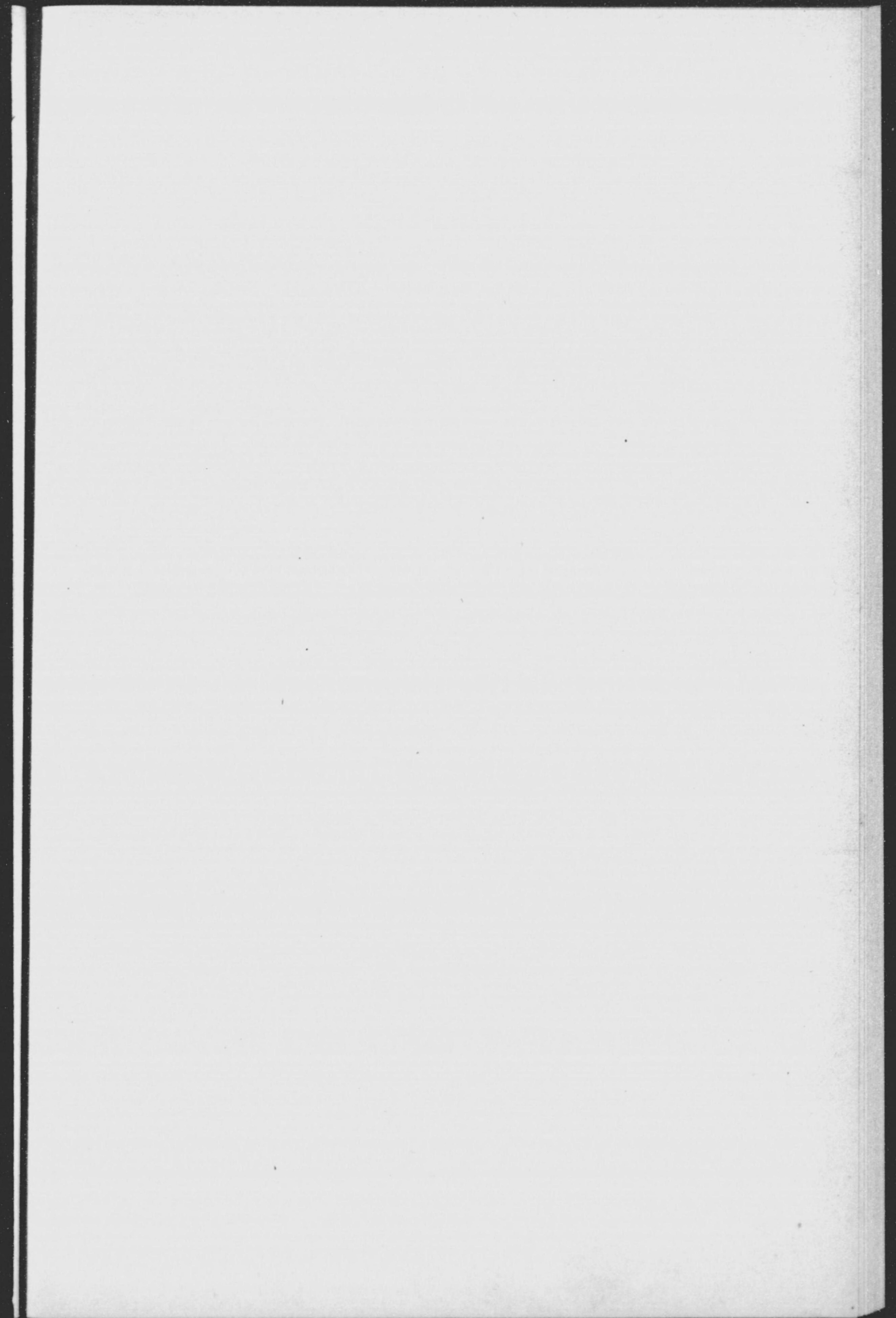
ノ減退セルニ非ズ、生活程度上進シ生存競争激甚ヲ加フルト共ニ、多數家族ヲ嫌惡スルノ念慮漸ク旺盛ト爲リ、彼ノ「二兒制度」ト稱スルガ如キ風習一般ニ行ハルルコト最モ主要ナル原因ナルガ如シ。斯ノ如ク歐洲諸國ハ出生率ノ低下ト同時ニ、交通機關ノ發達ニ依リ穀物ハ多量ニ海外ヨリ輸入セララルヲ以テ、食物ト人口トノ關係ハ「マルサス」ノ所説ト反對ノ結果ヲ生ジ、殊ニ佛國ノ如キハ人口増殖ノ極メテ少ナキヲ以テ國家ノ憂ト爲スナリ。然レドモ、此事實ハ「マルサス」ノ人口論ヲ根本的ニ打破スルモノニ非ズ。曩ニ述ベタルガ如ク、出生率ノ低下ハ「マルサス」ノ所謂豫防的抑制ノ實行セララル爲メニ他ナラズ。從ツテ、其原因ハ直接食物ノミニ關セズト雖モ、要スルニ、經濟關係ナルヲ以テ「マルサス」ノ人口論ヲ廣義ニ解スレバ、其實現ノ一態様ト謂フモ不可ナキナリ。且人口ノ増加率假令高カラザルモ、現時ノ程度ヲ以テスレバ七八十年ニ二倍スルノ割合ニシテ、海外ヨリノ穀物輸入モ其產地ニ於ケル人口ノ増殖ト共ニ減少スベキヲ以テ、他日「マルサス」ノ所説ガ端的ニ實現スルコト絶無ナリト斷言スルヲ得ザルナリ。

**本邦ノ人口問題** 翻テ本邦ニ就テ之ヲ見ルニ、人口ハ明治維新前約二百年間ハ

殆ド増減ヲ示サザリシガ、爾後顯著ナル増加ヲ來シ、六十年間ニ約二倍ト爲レリ。之ニ對シテ、主要食物タル米ノ産額モ非常ニ増加シテ所謂自給ノ状態ヲ維持シタリシガ、近時ハ若干ノ輸入ヲ爲スノ年度多キニ至レリ。而シテ人口竝ニ食物ノ將來ヲ豫想スルニ、出生率及ビ死亡率ハ歐米諸國ヨリモ高く、從ツテ兩者ハ共ニ低下スルモノト看做シ得ベシト雖モ、結局人口ノ増加ハ現時ト大差ナキ趨勢ヲ以テ繼續スルモノト思料セザルヲ得ズ。之ニ反シテ、米ノ産額ノ増加ハ樂觀シ難シトス。耕地面積ノ増加ニハ一定ノ限度アリ、段當ノ增收ハ、往往著シキ豐作ナキニ非ザレドモ、多年其ノ繼續スルコトハ期待シ得ベキニ非ザレバナリ。又海外ヨリノ米ノ輸入ハ容易ト爲レルモ、之ガ爲メニ本邦ノ農業者ハ窮境ニ陥ルノ虞アルナリ。

## 經濟原論終







## 日英獨學語對譯表

<b>ア—エ</b>		
アリストテレス	Aristotle (384—322 B. C.).	Aristoteles.
裏書	Indorsement.	Indossament.
運送保險	Transportation insurance.	Transportversicherung.
營利	Profit-making.	Erwerb.
營利資本	Acquisitive capital.	Erwerbskapital.
營利保險	Capitalistic insurance.	Versicherung durch Erwerbsgesellschaften.
エンゲル		Ernst Engel (1821—1896).
「エンゲル」ノ 法則	Engel's law.	Engelsches Gesetz.
<b>カ・ガ</b>		
海上保險	Marine insurance.	Seeversicherung.
價格	Price.	Preis.
客觀的價值	Objective value.	Objektiver Wert.
家計表	Family budget.	Haushaltungsbudget.
火災保險	Fire insurance.	Feuerversicherung.
貸付	Loan.	Darlehen.
過剩生產	Overproduction.	Überproduktion.
價值	Value.	Wert.
價值ノ尺度	Measure of value.	Wertmass.



滑準法(從價昇降制度)	Sliding-scale system of wages.	Gleitende Lohnskala.
貨幣	Money.	Geld.
貨幣單位	Monetary unit.	Geldeinheit.
貨幣支拂ノ貨銀	Money wage.	Geldlohn.
貨幣以外ノ財貨ヲ以テ支拂フ貨銀	Wage in kind.	Naturallohn.
爲替	Exchange.	Wechselverkehr.
爲替手形	Bill of exchange.	Gezogener Wechsel, Tratte.
爲替相場	Rate of exchange.	Wechselkurs.
株式	Share.	Aktie.
株式會社	Joint-stock company.	Aktiengesellschaft.
株式合資會社	Limited joint-stock partnership.	Kommanditgesellschaft auf Aktien.
カルテル(企業聯合)	Cartel.	Kartell.
關稅	Customs-duty.	Zoll.
還元	Capitalisation.	Kapitalisierung.
外國爲替	Foreign exchange.	Devisengeschäft.
外國貿易	Foreign trade.	Aussenhandel.
<b>キ・キ</b>		
企業	Enterprise.	Unternehmung.
企業者	Entrepreneur.	Unternehmer.
企業結合	Industrial combination.	Unternehmerverband.

供給	Supply.	Angebot.
恐慌	Crisis, panic.	Krise, Panik.
協力	Combination of labour.	Arbeitsvereinigung.
共同企業	Collective enterprise	Kollektivunternehmung.
金爲替本位制	Gold exchange standard.	Golddevisenwährung.
キン	Gregory King (1648—1712).	
金地金本位制	Gold bullion standard.	Goldbarrenwährung.
金本位制	Gold standard.	Goldwährung.
金利	Money interest.	Geldzins.
勤勞所得	Earned income.	Arbeitseinkommen.
金融	Monetary credit.	Kreditverkehr.
金融機關(信用機關)	Credit institution.	Kreditanstalt.
銀本位制	Silver standard.	Silberwährung.
銀行	Bank.	Bank.
銀行券	Banknote.	Banknote.
銀行手形	Bank bill.	Bankwechsel.
<b>グ・ケ・ゲ</b>		
グレシャム	Sir Thomas Gresham (1519—1579).	
「グレシャム」ノ法則	Gresham's law.	Greshamsches Gesetz.
經濟	Economy.	Wirtschaft.
經濟學	Economics, Political	Volkswirtschaftslehre,



經濟財貨	Economy.	Politische Ökonomie.
經濟政策	Economic good.	Wirtschaftliches Gut.
	National economic policy.	Volkswirtschaftspolitik.
景氣	Business condition.	Konjunktur.
景氣順環	Business cycle.	Konjunkturzyklus.
經常價格	Normal price.	Normalpreis.
減價償却	Depreciation.	Abschreibung.
限界效用	Marginal utility.	Grenznutzen.
現金取引	Cash transaction.	Bargeschäft.
<b>コ・ゴ</b>		
交易	Exchange.	Tausch.
交易ノ媒介	Medium of exchange.	Tauschvermittler.
交換價值	Value in exchange.	Tauschwert.
好景氣	Prosperous condition of the market, trade-boom.	Günstige Konjunktur, Hochkonjunktur.
耕境	Margin of cultivation.	Bebauungsgrenze.
公債	Public debt.	Öffentliche Schuld.
效用	Utility.	Nutzen.
工場	Factory.	Fabrik.
工場閉鎖	Lock-out.	Aussperrung.
小切手	Cheque(check).	Scheck.
國家經濟	State economy.	Staatshaushalt.
國際貸借	International indebtedness.	Internationale Zahlungsbilanz.

國民經濟	National economy.	Volkswirtschaft.
個人的價值	Individual value.	Individueller Wert.
コール・ローン (コール・マネー)	Call loan(call money).	Tägliches Geld.
固定資本	Fixed capital.	Stehendes Kapital.
合資會社	Limited partnership.	Kommanditgesellschaft.
合名會社	Ordinary partnership.	Offene Handelsgesellschaft.
<b>サ・ザ</b>		
債券	Debenture bond.	Obligation.
最低賃銀	Minimum wage.	Minimallohn.
再保險	Re-insurance.	Rückversicherung.
產業組合	Cooperative society.	Erwerbs- und Wirtschaftsgenossenschaft.
財貨	Good.	Gut.
財產	Property.	Vermögen.
財產所得	Unearned income.	Vermögenseinkommen.
財政	Public finance.	Finanz.
財政學	Science of public finance.	Finanzwissenschaft.
<b>シ・ジ</b>		
仕事高拂賃銀	Piece wage.	Stücklohn.
市場	Market.	Markt.
自然	Nature.	Natur.



自然價格	Natural price.	Natürlicher Preis.
自然的獨占	Natural monopoly.	Natürliches Monopol.
私的資本	Private capital.	Privatkapital.
紙幣	Paper money.	Papiergeld.
紙幣本位	Paper standard.	Papierwährung.
資本	Capital.	Kapital.
社會經濟	Social economy.	Gesellschaftliche Wirtschaft.
社會資本	Social capital.	Sozialkapital.
社會主義	Socialism.	Sozialismus.
社會的價值	Social value.	Sozialer Wert.
社會的分業	Social division of labour.	Gesellschaftliche Arbeitsteilung.
社會保險	Social insurance.	Sozialversicherung.
私有財產	Private property.	Privateigentum.
使用價值	Value in use.	Gebrauchswert.
商業銀行	Commercial bank.	Handelsbank.
商業手形	Commercial bill.	Handelswechsel.
商品生產		Warenproduktion.
所得	Income.	Einkommen.
所得稅	Income tax.	Einkommensteuer.
消費	Consumption.	Konsumtion, Güterverbrauch.
消費信用	Consumptive credit.	Konsumtivkredit.
消費組合	Consumers' cooperative society.	Konsumverein.
消費貸借	Loan for consumption.	Darlehen.
死亡率	Death-rate.	Sterblichkeitsziffer.

出生率	Birth-rate.	Geburtenziffer.
主觀的價值	Subjective value.	Subjektiver Wert.
收縮(貨幣ノ)	Deflation.	Deflation.
伸縮的制限法	Elastic limit method.	Methode einer elastischen Grenze.
信託會社	Trust company.	Treuhandgesellschaft.
信用	Credit.	Kredit.
信用取引	Credit transaction.	Kreditgeschäft.
信用組合	Cooperative credit society.	Kreditgenossenschaft.
信用證券	Credit paper.	Kreditpapier.
ジェヴォンス	William Stanley Jevons (1835—1882).	
時間拂賃銀	Time wage.	Zeitlohn.
自給經濟	Self-sufficing economy.	Selbstgenügsame Wirtschaft.
「時差說」	Theory of discounting the future.	Agiotheorie, Zeitdifferenztheorie.
實質上ノ賃銀	Real wage.	Reallohn.
需要	Demand.	Nachfrage.
自由競爭	Free competition.	Freie Konkurrenz.
自由財貨	Free good.	Freies Gut.
自由鑄造	Free coinage.	Prägefreiheit.
自由貿易	Free trade.	Freihandel.
純利潤	Net profit.	Nettogewinn.
純利息	Net interest.	Nettozins.
人口	Population.	Bevölkerung.
授信的業務(銀)		Aktives Bankgeschäft.



行ノ)		
受信的業務 (銀行ノ)		Passives Bankgeschäft.
<b>スーソ</b>		
スタンダード・オイル・トラスト	Standard Oil Trust.	
生活資料	Means of subsistence.	Nahrungsmittel.
生活ノ程度	Standard of life.	Lebenshaltung.
正貨輸送點	Specie point, gold point.	Goldpunkt.
生産	Production.	Produktion.
生産資本	Productive capital.	Produktivkapital.
生産信用	Productive credit.	Produktivkredit.
生産ノ要素	Factor of production.	Produktionsfaktor.
生産費	Cost of production.	Produktionskosten.
生産的消費	Productive consumption.	Technische Konsumtion.
生産的労働	Productive labour.	Produktivarbeit.
精神的労働	Mental labour.	Geistige Arbeit.
生命保険	Life assurance.	Lebensversicherung.
制欲説	Abstinence theory.	Abstinenztheorie.
責任保険	Liability insurance.	Haftpflichtversicherung.
積極的抑制	Positive check.	Zerstörendes Hemmnis.
生命表 (死亡生)	Life table, mortality	Sterblichkeitstafel.

殘表)	table.	
相互保險	Mutual insurance.	Gegenseitigkeitsversicherung.
租稅	Tax.	Steuer.
總利潤	Gross profit.	Bruttogewinn.
<b>タ・ダ</b>		
對外價值 (貨幣ノ)	External value (of money)	Aussenwert (des Geldes)
怠業	Sabotage.	Sabotage.
對人信用	Personal credit.	Personalkredit.
對物信用	Real credit.	Realkredit.
中央銀行	Central bank.	Zentralbank.
鑄造貨幣	Coin.	Münze.
蓄藏	Hoarding.	Thesaurierung.
地代	Rent, land rent.	Grundrente.
貯蓄銀行	Savingsbank.	Sparkasse.
賃銀	Wage.	Arbeitslohn.
「賃銀基金説」	Wages fund theory.	Lohnfondstheorie.
「賃銀ノ鐵則」	Iron law of wages.	Ehernes Lohngesetz.
通貨	Money, currency.	Geld, Umlaufsmittel.
通知預金	Deposit at notice.	Depositengeld auf Kündigung.
單獨企業	Single enterprise.	Einzelunternehmung.
大企業	Large scale enterprise.	Grossunternehmung.
ダンピング	Dumping.	



<b>テ・デ</b>		
定期取引 (先物取引)	Dealing in futures.	Termingeschäft.
定期預金	Fixed deposit.	Depositengeld mit festem Hinterlegungstermin.
手形交換制度	Bankers' clearing system.	Abrechnungssystem.
手形割引	Discounting of bills.	Wechseldiskontierung.
電信爲替	Telegraphic transfer (T. T.).	Telegraphische Auszahlung.
<b>ト・ド</b>		
統計	Statistics.	Statistik.
投機	Speculation.	Spekulation.
當座貸越	Overdraft.	Kontokorrentredit.
當座預金	Current deposit.	Jederzeit fällige Depositenge'd.
特別線引	Special crossing.	Spezialquerrung.
土地増價税	Increment value duty.	Bodenwertzuwachssteuer.
トラスト (企業合同)	Trust.	Trust.
トラック・システム	Truck system.	
取引所	Exchange, bourse.	Börse.

動産擔保貸付	Loan on security.	Lombarddarlehen.
同盟罷業	Strike.	Streik, Arbeitseinstellung.
獨占	Monopoly.	Monopol.
獨占價格	Monopoly price.	Monopolpreis.
<b>ハ・ヒ・フ・ブ</b>		
剝竊	Clipping and sweating of coins.	Kippen und Wippen.
跛行本位制	Limping standard; étalon boiteux (佛語).	Hinkende Währung.
發券銀行	Bank of issue.	Notenbank.
引受 (手形ノ)	Acceptance (of bills of exchange)	Wechselakzept.
比例準備法	Proportional reserve method.	Proportionierte Reservemethode.
不換紙幣	Inconvertible paper money.	Uneinlösliches Papiergeld.
不景氣	Trade depression.	Depression, Tiefkonjunktur.
普通線引	General crossing.	Generalquerrung.
複合協力	Complex cooperation of labour.	Zusammengesetzte Arbeitsvereinigung.
不動産抵當銀行	Hypothec bank.	Hypothekenbank.
振替制度	Giro transfer.	Giroverkehr.
本原的所得	Original income.	Ursprüngliches Einkommen.



物價指數	Commodity prices. Index number of prices.	Warenpreise. Indexzahl der Preise.
物物交易	Barter.	Tauschhandel.
物品貨幣	Commodity money.	Warengeld.
分業	Division of labour.	Arbeitsteilung.
分配	Distribution.	Verteilung.
<b>ホ</b>		
法貨	Legal tender.	Gesetzliches Zahlungsmittel.
法定平價	Mint par.	Münzparität.
報酬漸減ノ法則	Law of diminishing returns.	Gesetz des abnehmenden Bodenertrags.
報酬漸増ノ法則	Law of increasing returns.	
保險	Insurance.	Versicherung.
保護政策	Protection.	Schutzsystem.
補助貨幣	Subsidiary money.	Scheidegeld.
本位貨幣	Standard money.	Währungsgeld.
膨脹(貨幣ノ)	Inflation.	Inflation.
<b>マーモ</b>		
マルサス	Thomas Robert Malthus(1766—1834).	
無制限法貨	Unlimited legal tender.	Unbeschränkte gesetz-

名義上ノ賃銀	Nominal wage.	liches Zahlungsmittel.
持株會社	Holding company.	Nominallohn.
戻 稅	Drawback.	Kontrollgesellschaft, Dachgesellschaft.
<b>ニーノ</b>		Rückzoll.
荷爲替手形	Documentary bill.	Dokumentenwechsel.
肉體的勞働	Physical labour.	Körperliche Arbeit.
「二兒制度」		Zweikindersystem.
能 率	Efficiency.	Arbeitsleistung.
<b>ラ・ロ</b>		
ラッサル		Ferdinand Lassalle (1825—1864).
リカルドー	David Ricardo (1772—1823).	
流動資本	Circulating capital.	Umlaufendes Kapital.
流通速度	Velocity of circulation.	Umlaufgeschwindigkeit.
利潤(企業所得)	Profit.	Unternehmereinkommen.
利潤分配法	Profit-sharing.	Gewinnbeteiligung.
利息	Interest.	Zins.
利率	Rate of interest.	Zinsfuß.
勞働	Labour.	Arbeit.



兩位本制	Double standard, bi- metallism.	Doppelwährung, Bimetallismus.
勞働組合	Trade union.	Gewerkverein.
勞務	Service.	Dienstleistung.
<b>ヤ一ヨ</b>		
約束手形	Promissory note.	Eigenwechsel.
有價證券	Security.	Wertpapier.
融通手形	Accommodation bill.	Gefälligkeitswechsel.
欲望	Want.	Bedürfnis.
預金	Deposit.	Depositengeld.
預金貨幣(預金 通貨)	Deposit currency.	Giralgeld.
豫防的抑制	Preventive check.	Vorbeugendes Hemm- nis.



昭和六年四月一日印刷  
昭和六年四月五日發行

全訂改版經濟原論奧附  
定價金貳圓

著作權  
所有

著者 山崎覺次郎  
發行者 江草重忠  
印刷者 白井赫太郎

東京市神田區錦町三丁目十七番地

發行所

東京市神田區一橋通町五番地  
電話九段三〇三三番  
指板口座三三三〇番

有斐閣

賣捌所

東京市本郷區森川町八十番地

有終閣

(社 興 精 所 刷 印)



山崎先生著述目錄

貨幣銀行問題一斑	若干の貨幣問題	訂改 銀行論	全訂 經濟原論
全一冊	全一冊	全一冊	全一冊
品切	定價金貳圓八拾錢 郵稅金拾八錢	定價金壹圓五拾錢 郵稅金八錢	定價金貳拾八錢 郵稅金八錢

山崎先生著



